

五城目町国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月
五城目町

第1章 計画策定について		
1. 背景		1
2. 計画期間		1
3. 基本方針		2
4. データヘルス計画の位置づけ		3
5. 実施体制・関係者連携		3
第2章 現状と課題把握		
1. 保険者の特性把握		4
(1) 基本情報		4
(2) 医療費等の状況		5
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		6
① 特定健康診査		6
② 特定保健指導		8
(4) 介護保険の状況		10
(5) 主たる死因の状況		14
2. 医療情報分析結果		16
(1) 基礎統計		16
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		17
① 高額レセプトの件数及び割合		17
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		18
(3) 疾病別医療費		20
① 大分類による疾病別医療費統計		20
② 中分類による疾病別医療費統計		22
3. 保健事業実施に係る分析結果		29
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		29
(2) 特定健康診査に係る分析		30
(3) 特定保健指導に係る分析		32
(4) 健診異常値放置者に係る分析		34
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析		36
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		38

	(7) 受診行動適正化に係る分析	42
	(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	45
	(9) 薬剤併用禁忌に係る分析	47
	(10) 服薬情報に係る分析	49
	4. 分析結果に基づく健康課題の把握	51
	(1) 分析結果	51
	(2) 分析結果に基づく課題とその対策	54
第3章 保健事業実施計画		
	1. 各事業の目的と概要一覧	55
	2. 全体スケジュール	57
第4章 その他		
	1. データヘルス計画の見直し	58
	(1) 評価	58
	(2) 評価時期	58
	2. 計画の公表・周知	58
	3. 個人情報の取り扱い	59
	4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	59
地区分析		
	1. 大分類による疾病別医療費地区別統計	地区分析 1
	2. 中分類による疾病別医療費地区別統計	地区分析 8
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	巻末資料1
	2. 用語解説集	巻末資料2
	3. 疾病分類表	巻末資料3

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

※傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

※レセプト分析システムおよび分析方法
(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

3. 基本方針

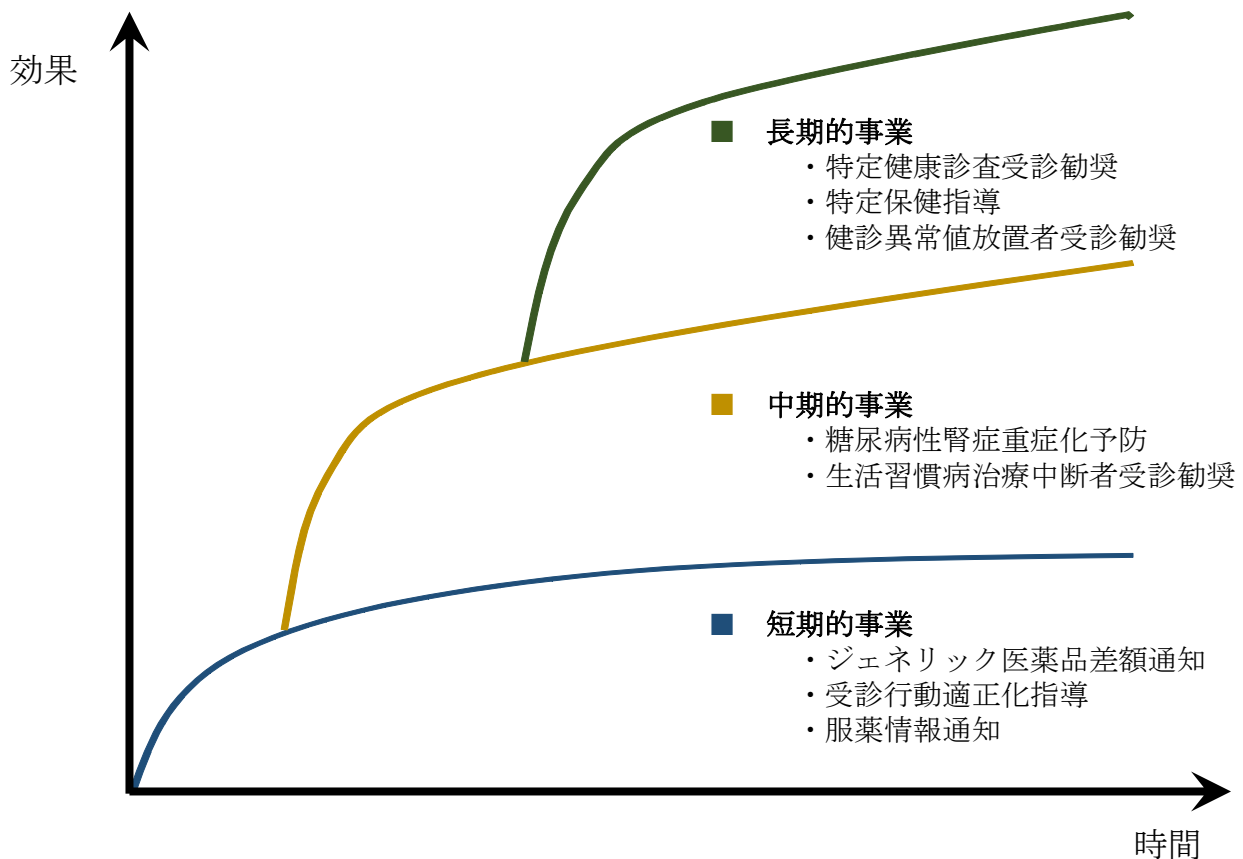
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を五城目町国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本町の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は37.0%であり、県との比較で1.2倍、同規模との比較で1.3倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は2,288人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は21.8%である。国民健康保険被保険者平均年齢は58.2歳である。

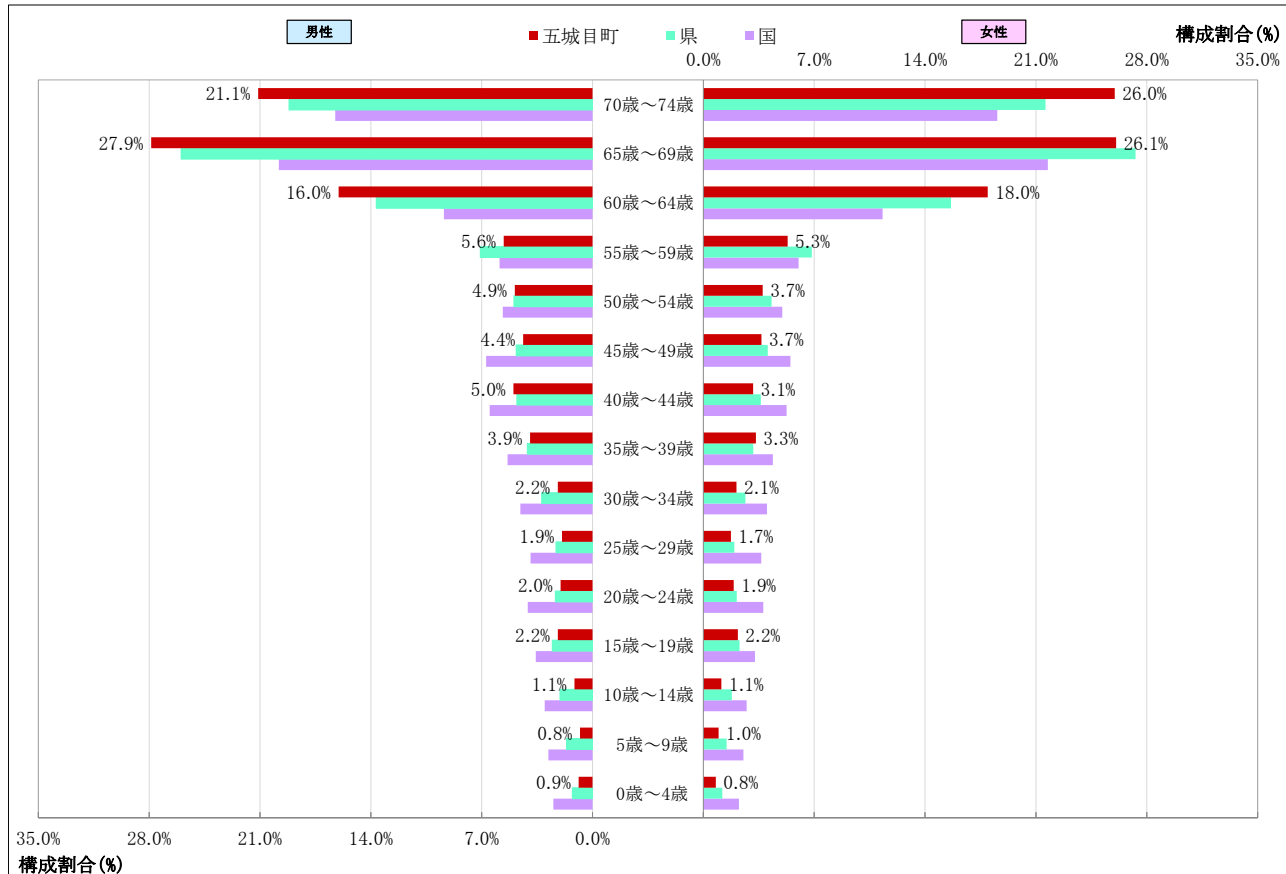
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
五城目町	10,500	37.0%	2,288	21.8%	58.2	5.0%	15.1%
県	1,077,076	29.7%	241,732	22.4%	56.1	6.2%	13.3%
同規模	12,310	29.6%	3,354	26.6%	53.5	6.9%	13.7%
国	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は秋田県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

本町の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	五城目町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.0	0.3	0.2	0.3
診療所数	3.5	3.4	2.2	3.0
病床数	0.0	63.9	33.8	46.8
医師数	2.6	9.7	3.8	9.2
外来患者数	737.6	721.7	682.6	668.3
入院患者数	26.4	22.2	22.4	18.2
受診率	764.0	743.9	705.0	686.5
一件当たり医療費(円)	41,050	37,360	37,680	35,330
一般(円)	41,670	37,380	37,790	35,270
退職(円)	29,930	36,990	34,520	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	56.6%	58.1%	57.2%	60.1%
外来受診率	737.6	721.7	682.6	668.3
一件当たり医療費(円)	24,080	22,390	22,270	21,820
一人当たり医療費(円)	17,760	16,160	15,200	14,580
一日当たり医療費(円)	17,620	15,380	14,760	13,910
一件当たり受診回数	1.4	1.5	1.5	1.6
入院				
入院費用の割合	43.4%	41.9%	42.8%	39.9%
入院率	26.4	22.2	22.4	18.2
一件当たり医療費(円)	515,500	524,540	506,850	531,780
一人当たり医療費(円)	13,610	11,630	11,370	9,670
一日当たり医療費(円)	27,340	29,940	30,270	34,030
一件当たり在院日数	18.9	17.5	16.7	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

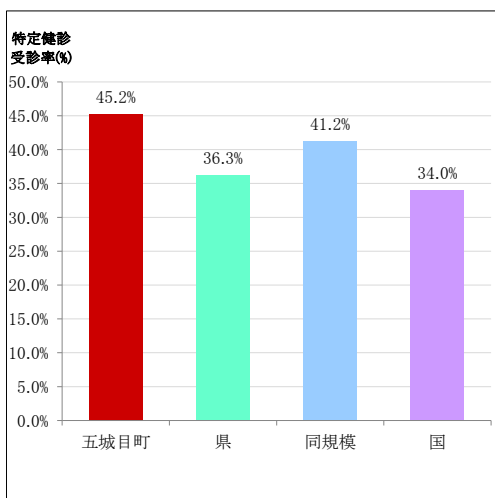
本町の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
五城目町	45.2%
県	36.3%
同規模	41.2%
国	34.0%

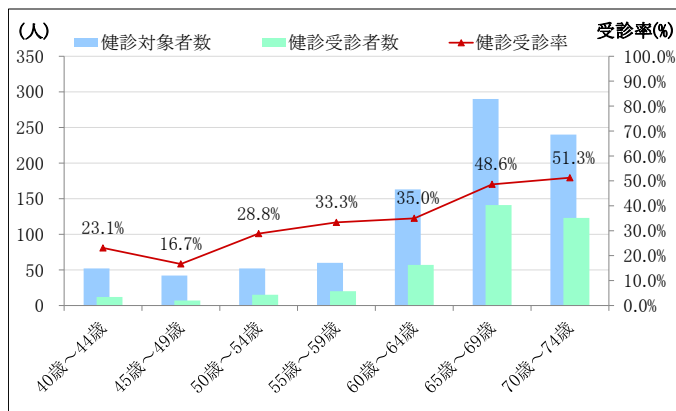
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(平成28年度)



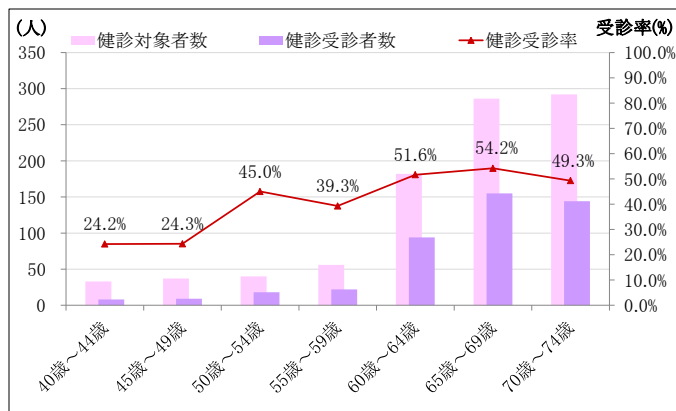
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



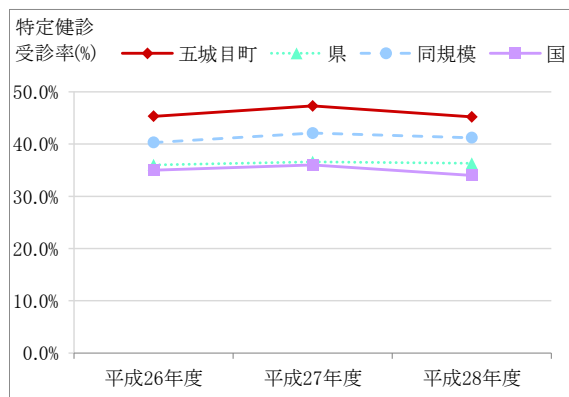
本町の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率45.2%は平成26年度45.3%より0.1ポイント低下している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
五城目町	45.3%	47.3%	45.2%
県	36.0%	36.6%	36.3%
同規模	40.3%	42.1%	41.2%
国	35.0%	36.0%	34.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

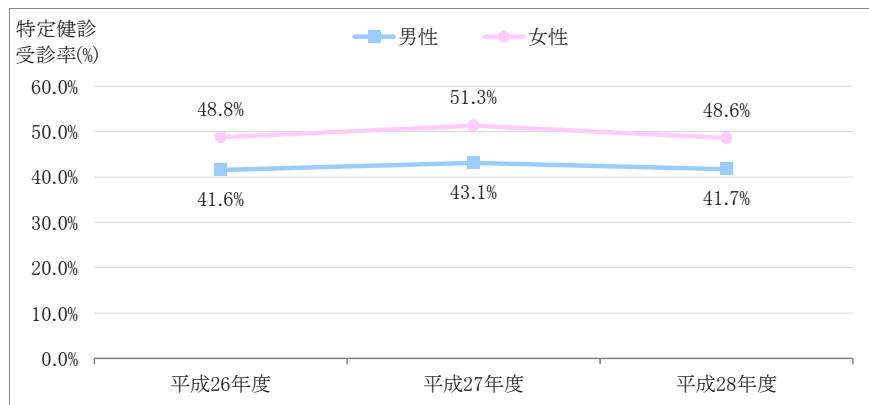
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率41.7%は平成26年度41.6%より0.1ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率48.6%は平成26年度48.8%より0.2ポイント低下している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

本町の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

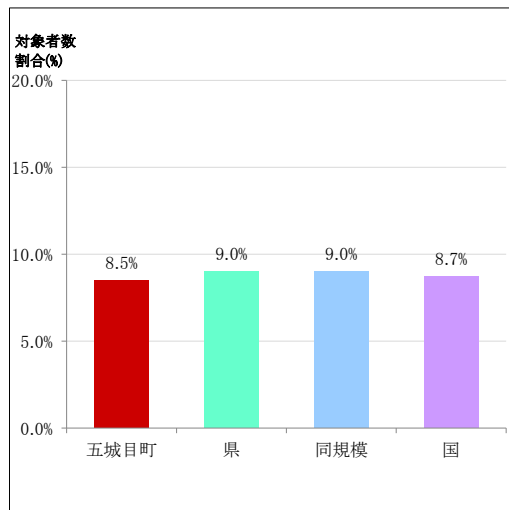
特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
五城目町	8.5%	2.4%	10.9%	6.7%
県	9.0%	3.3%	12.3%	8.1%
同規模	9.0%	3.4%	12.5%	10.6%
国	8.7%	3.2%	11.9%	4.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

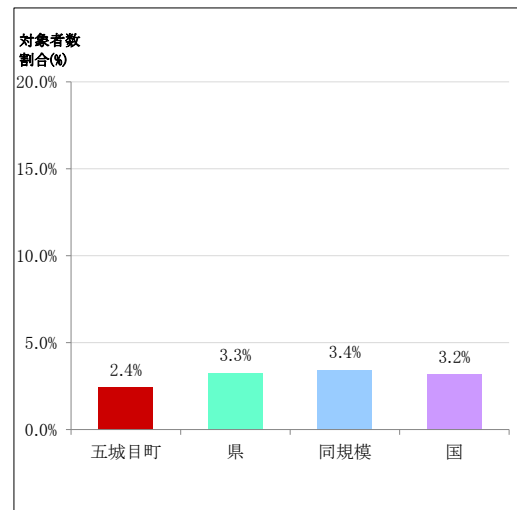
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



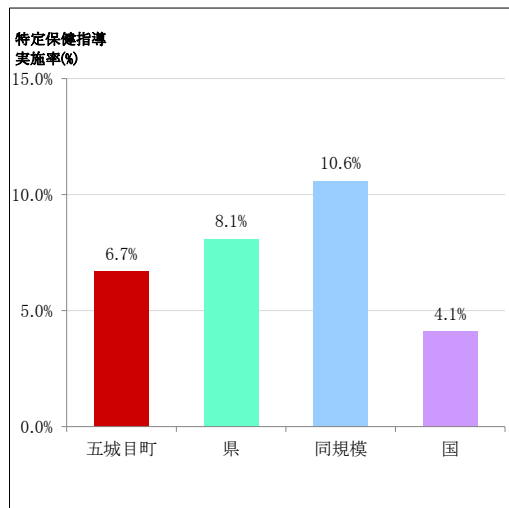
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率6.7%は平成26年度5.1%より1.6ポイント上昇している。

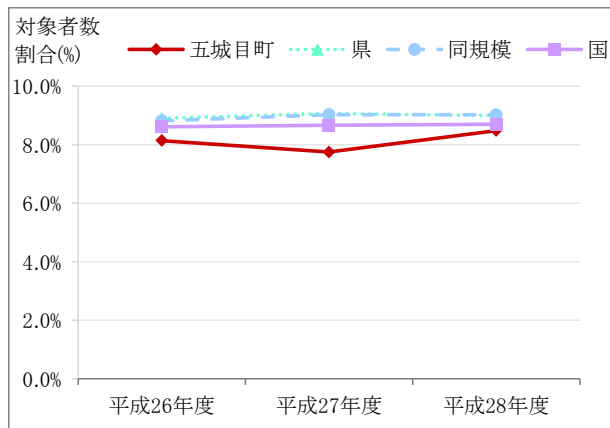
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
五城目町	8.1%	7.8%	8.5%	2.6%	2.8%	2.4%	10.8%	10.6%	10.9%	5.1%	4.1%	6.7%
県	8.9%	9.1%	9.0%	3.5%	3.4%	3.3%	12.4%	12.5%	12.3%	17.9%	17.4%	8.1%
同規模	8.8%	9.0%	9.0%	3.7%	3.6%	3.4%	12.5%	12.6%	12.5%	38.1%	38.7%	10.6%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.2%	4.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

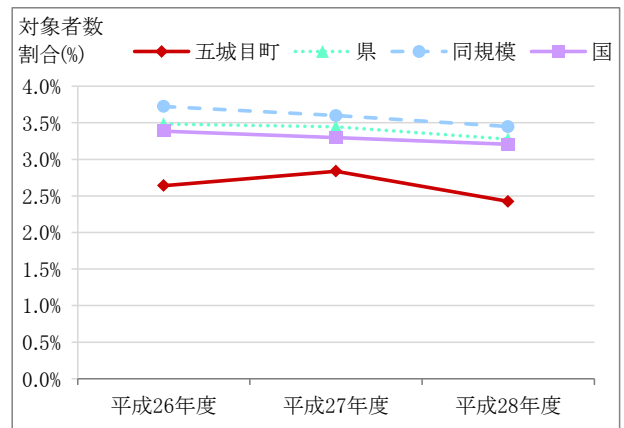
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



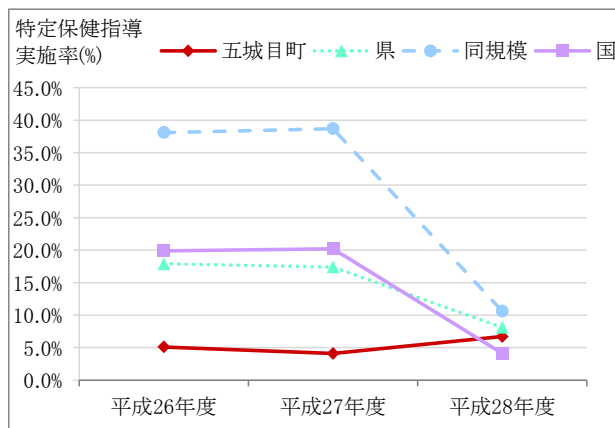
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

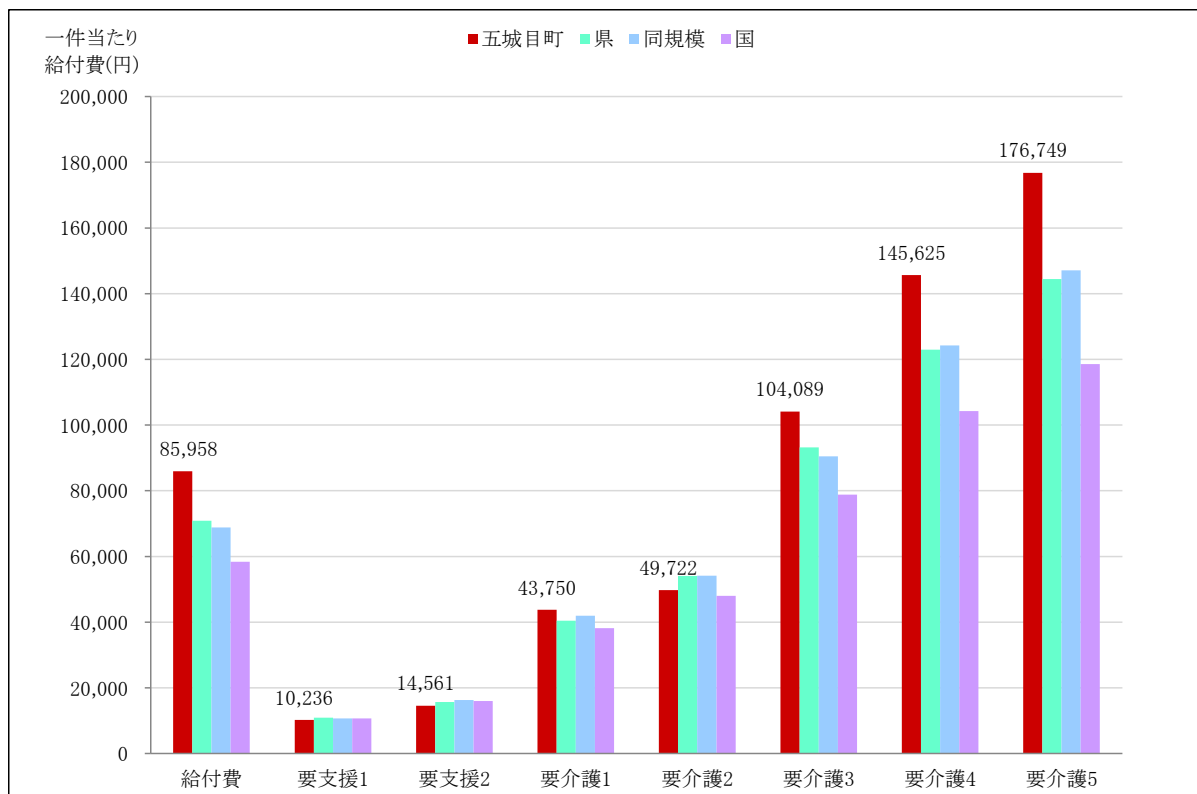
本町の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	五城目町	県	同規模	国
認定率	27.5%	22.5%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	1,039	73,901	117,315	6,034,085
第1号(65歳以上)	1,025	72,252	114,823	5,882,340
第2号(40～64歳)	14	1,649	2,492	151,745
一件当たり給付費(円)				
給付費	85,958	70,838	68,805	58,349
要支援1	10,236	10,943	10,678	10,730
要支援2	14,561	15,725	16,299	15,996
要介護1	43,750	40,449	41,951	38,200
要介護2	49,722	54,085	54,121	48,047
要介護3	104,089	93,173	90,510	78,791
要介護4	145,625	122,945	124,214	104,264
要介護5	176,749	144,428	147,066	118,599

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

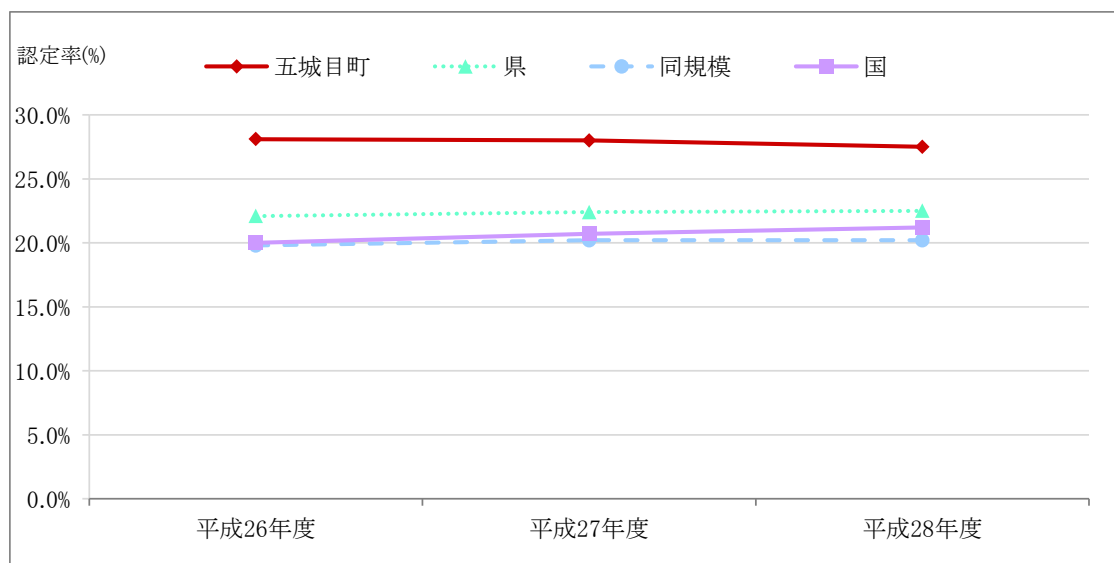
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率27.5%は平成26年度28.1%より0.6ポイント低下しており、平成28年度の認定者数1,039人は平成26年度1,090人より51人減少している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
五城目町	平成26年度	28.1%	1,090	1,077	13
	平成27年度	28.0%	1,114	1,098	16
	平成28年度	27.5%	1,039	1,025	14
県	平成26年度	22.1%	72,857	71,116	1,741
	平成27年度	22.4%	73,488	71,760	1,728
	平成28年度	22.5%	73,901	72,252	1,649
同規模	平成26年度	19.8%	106,623	104,130	2,493
	平成27年度	20.2%	111,041	108,537	2,504
	平成28年度	20.2%	117,315	114,823	2,492
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると2,834人となり、認定者は平均2.7疾病を有していることがわかる。

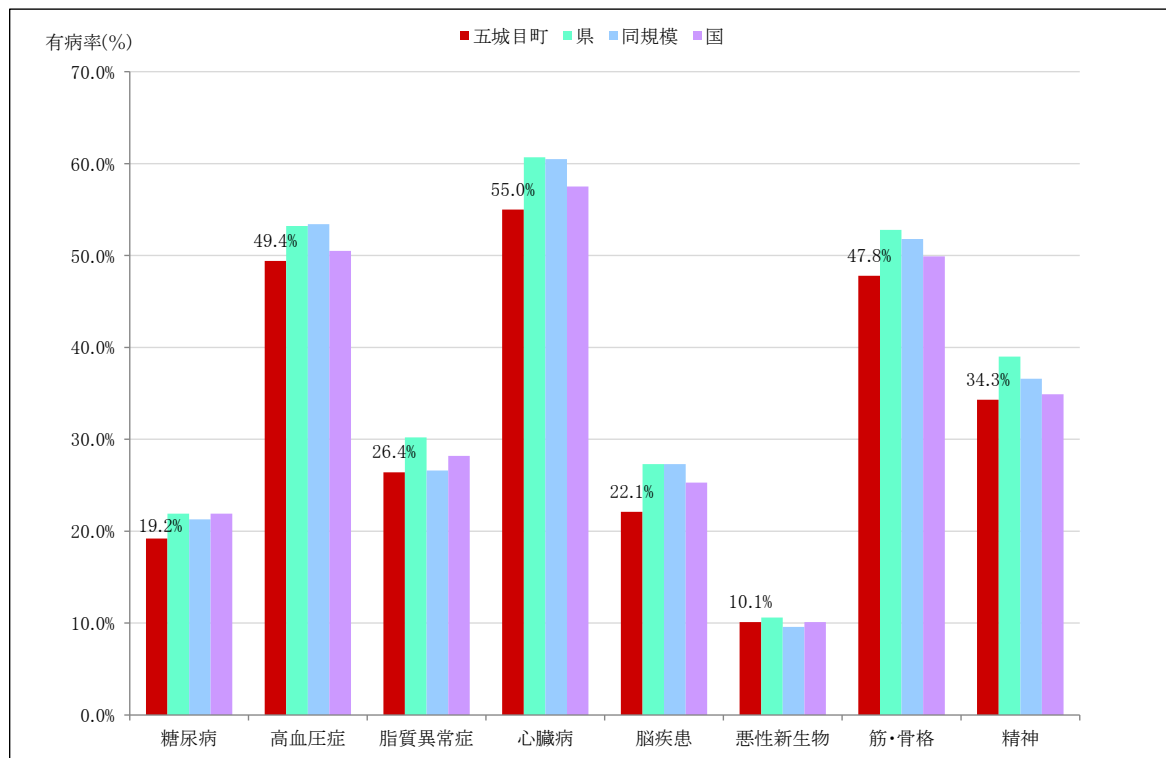
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	五城目町	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	1,039		73,901		117,315		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	200	16,380		25,557		1,343,240	
	有病率	19.2%	21.9%		21.3%		21.9%	
高血圧症	実人数(人)	535	39,998		63,736		3,085,109	
	有病率	49.4%	53.2%		53.4%		50.5%	
脂質異常症	実人数(人)	283	22,908		31,917		1,733,323	
	有病率	26.4%	30.2%		26.6%		28.2%	
心臓病	実人数(人)	592	45,563		72,144		3,511,354	
	有病率	55.0%	60.7%		60.5%		57.5%	
脳疾患	実人数(人)	231	20,229		32,336		1,530,506	
	有病率	22.1%	27.3%		27.3%		25.3%	
悪性新生物	実人数(人)	114	8,064		11,669		629,053	
	有病率	10.1%	10.6%		9.6%		10.1%	
筋・骨格	実人数(人)	512	39,709		61,988		3,051,816	
	有病率	47.8%	52.8%		51.8%		49.9%	
精神	実人数(人)	367	29,298		44,120		2,141,880	
	有病率	34.3%	39.0%		36.6%		34.9%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.7疾病は平成26年度2.8疾病より減少している。

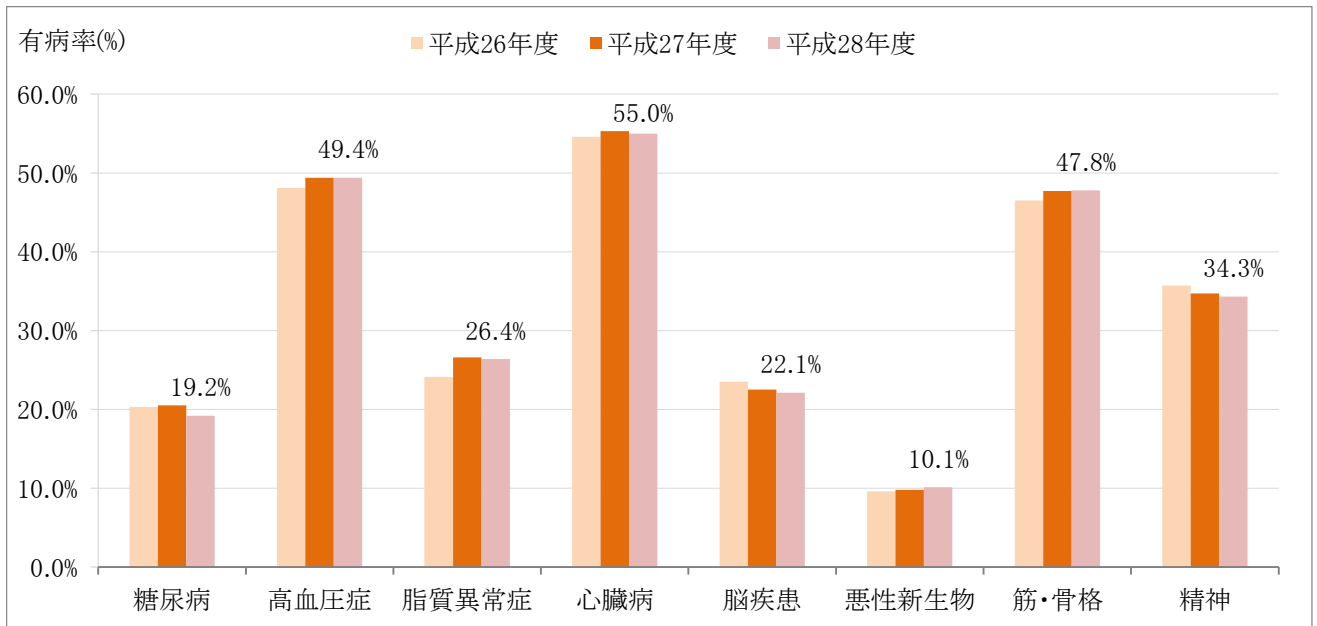
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	五城目町						県			同規模			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	1,090		1,114		1,039		72,857	73,488	73,901	106,623	111,041	117,315	5,324,880	5,751,982	6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	236	7	234	7	200	7	15,760	16,470	16,380	21,596	23,622	25,557	1,089,285	1,241,024	1,343,240
	有病率(%)	20.3%		20.5%		19.2%		21.5%	21.7%	21.9%	19.3%	20.9%	21.3%	20.3%	21.4%	21.9%
高血圧症	実人数(人)	568	2	560	2	535	2	38,534	39,685	39,998	55,287	59,333	63,736	2,551,660	2,865,466	3,085,109
	有病率(%)	48.1%		49.4%		49.4%		52.3%	52.7%	53.2%	49.8%	53.1%	53.4%	47.9%	49.7%	50.5%
脂質異常症	実人数(人)	291	5	313	5	283	5	21,519	22,515	22,908	26,703	29,308	31,917	1,386,541	1,586,963	1,733,323
	有病率(%)	24.1%		26.6%		26.4%		28.8%	29.6%	30.2%	23.8%	26.1%	26.6%	25.7%	27.3%	28.2%
心臓病	実人数(人)	638	1	633	1	592	1	44,026	45,246	45,563	62,896	67,349	72,144	2,914,608	3,261,576	3,511,354
	有病率(%)	54.6%		55.3%		55.0%		59.9%	60.2%	60.7%	56.6%	60.4%	60.5%	54.8%	56.7%	57.5%
脳疾患	実人数(人)	273	6	263	6	231	6	20,604	20,759	20,229	28,905	30,670	32,336	1,324,669	1,455,985	1,530,506
	有病率(%)	23.5%		22.5%		22.1%		28.4%	27.8%	27.3%	26.4%	27.8%	27.3%	25.2%	25.4%	25.3%
悪性新生物	実人数(人)	109	8	119	8	114	8	7,520	7,932	8,064	9,725	10,614	11,669	493,808	569,967	629,053
	有病率(%)	9.6%		9.8%		10.1%		10.1%	10.4%	10.6%	8.8%	9.4%	9.6%	9.2%	9.8%	10.1%
筋・骨格	実人数(人)	527	3	542	3	512	3	37,923	39,170	39,709	53,520	57,551	61,988	2,505,146	2,813,795	3,051,816
	有病率(%)	46.5%		47.7%		47.8%		51.3%	52.0%	52.8%	48.1%	51.5%	51.8%	47.1%	48.9%	49.9%
精神	実人数(人)	395	4	402	4	367	4	27,543	28,881	29,298	36,988	40,349	44,120	1,720,172	1,963,213	2,141,880
	有病率(%)	35.7%		34.7%		34.3%		37.1%	38.0%	39.0%	33.3%	35.9%	36.6%	32.2%	33.8%	34.9%

出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

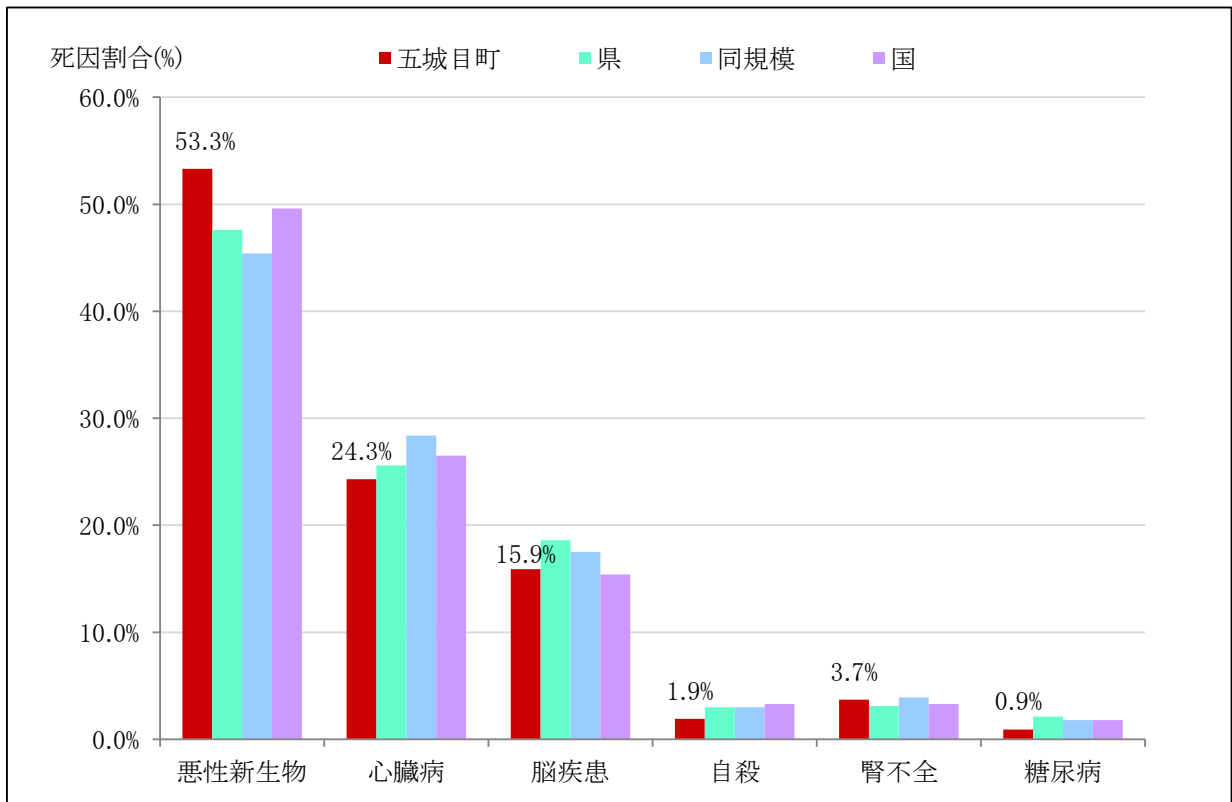
本町の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	五城目町		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	57	53.3%	47.6%	45.4%	49.6%
心臓病	26	24.3%	25.6%	28.4%	26.5%
脳疾患	17	15.9%	18.6%	17.5%	15.4%
自殺	2	1.9%	3.0%	3.0%	3.3%
腎不全	4	3.7%	3.1%	3.9%	3.3%
糖尿病	1	0.9%	2.1%	1.8%	1.8%
合計	107				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

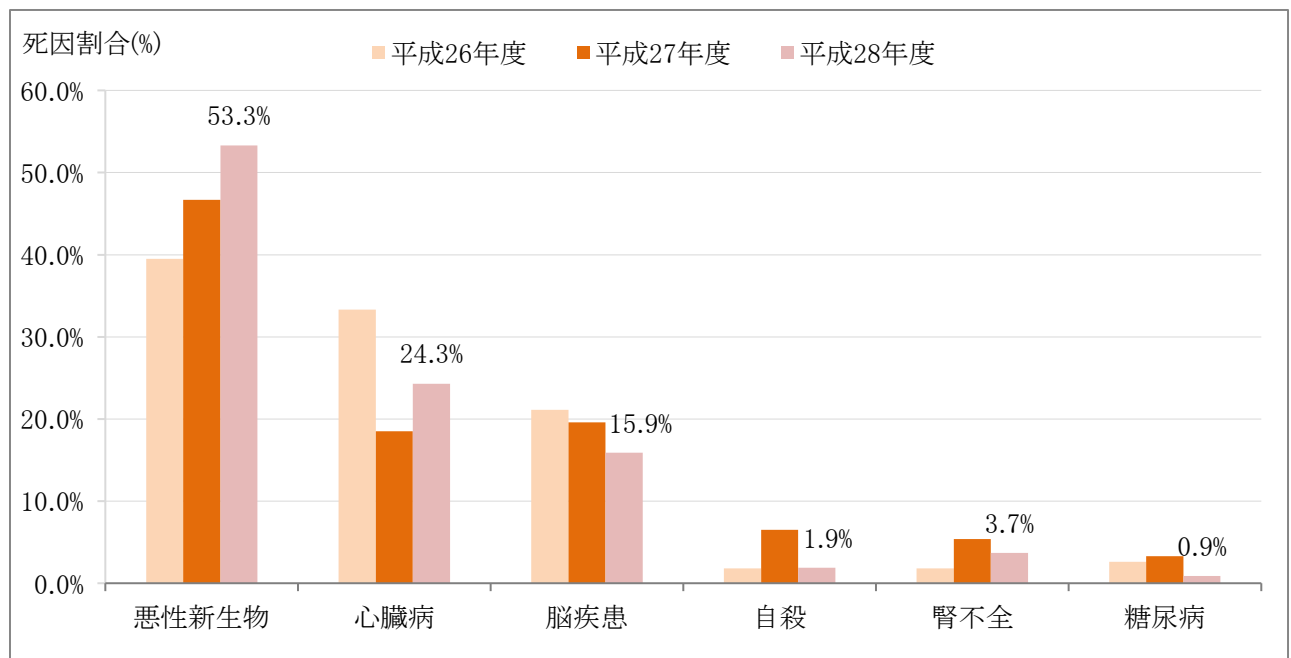
本町の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数57人は平成26年度45人より12人増加しており、心臓病を死因とする人数26人は平成26年度38人より12人減少している。また、脳疾患を死因とする人数17人は平成26年度24人より7人減少している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	五城目町						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	45	43	57	39.5%	46.7%	53.3%	46.0%	47.2%	47.6%	44.2%	43.9%	45.4%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	38	17	26	33.3%	18.5%	24.3%	25.8%	24.9%	25.6%	29.1%	28.7%	28.4%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	24	18	17	21.1%	19.6%	15.9%	19.8%	19.5%	18.6%	18.3%	18.6%	17.5%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	2	6	2	1.8%	6.5%	1.9%	3.3%	3.2%	3.0%	3.1%	3.3%	3.0%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	2	5	4	1.8%	5.4%	3.7%	3.4%	3.4%	3.1%	3.3%	3.8%	3.9%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	3	3	1	2.6%	3.3%	0.9%	1.8%	1.8%	2.1%	1.9%	1.8%	1.8%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	114	92	107												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、五城目町国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均2,358人、レセプト件数は平均3,124件、患者数は平均1,311人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均56,760円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	2,471	2,425	2,421	2,428	2,390	2,364	2,354	
B	レセプト件数(件)	入院外	1,919	1,766	1,809	1,774	1,808	1,709	1,795
		入院	69	63	66	68	67	56	63
		調剤	1,486	1,337	1,374	1,332	1,377	1,275	1,342
		合計	3,474	3,166	3,249	3,174	3,252	3,040	3,200
C	医療費(円) ※	73,579,760	70,787,640	76,122,430	81,133,080	76,659,530	70,220,720	71,845,990	
D	患者数(人) ※	1,428	1,344	1,359	1,334	1,330	1,310	1,338	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	29,777	29,191	31,443	33,416	32,075	29,704	30,521	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	21,180	22,359	23,429	25,562	23,573	23,099	22,452	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	51,526	52,669	56,014	60,819	57,639	53,604	53,697	
B/A	受診率(%)	140.6%	130.6%	134.2%	130.7%	136.1%	128.6%	135.9%	
D/A	有病率(%)	57.8%	55.4%	56.1%	54.9%	55.6%	55.4%	56.8%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	2,307	2,300	2,295	2,268	2,272	2,358		
B	レセプト件数(件)	入院外	1,680	1,743	1,606	1,565	1,704	1,740	20,878
		入院	58	47	57	71	66	63	751
		調剤	1,257	1,345	1,244	1,211	1,280	1,322	15,860
		合計	2,995	3,135	2,907	2,847	3,050	3,124	37,489
C	医療費(円) ※	75,799,460	71,186,120	78,707,090	74,100,570	72,574,320	74,393,059	892,716,710	
D	患者数(人) ※	1,266	1,301	1,221	1,219	1,278	1,311	15,728	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	32,856	30,950	34,295	32,672	31,943	31,550		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	25,309	22,707	27,075	26,028	23,795	23,813		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	59,873	54,716	64,461	60,788	56,787	56,760		
B/A	受診率(%)	129.8%	136.3%	126.7%	125.5%	134.2%	132.5%		
D/A	有病率(%)	54.9%	56.6%	53.2%	53.7%	56.3%	55.6%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは305件発生しており、レセプト件数全体の0.8%を占める。高額レセプトの医療費は3億994万円となり、医療費全体の34.7%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	3,474	3,166	3,249	3,174	3,252	3,040	3,200
B	高額レセプト件数(件)	25	25	26	34	26	20	24
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.8%	0.8%	1.1%	0.8%	0.7%	0.8%
C	医療費(円) ※	73,579,760	70,787,640	76,122,430	81,133,080	76,659,530	70,220,720	71,845,990
D	高額レセプトの医療費(円) ※	21,630,380	21,864,480	25,440,260	34,400,370	26,020,460	21,701,860	21,897,100
E	その他レセプトの医療費(円) ※	51,949,380	48,923,160	50,682,170	46,732,710	50,639,070	48,518,860	49,948,890
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	29.4%	30.9%	33.4%	42.4%	33.9%	30.9%	30.5%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	2,995	3,135	2,907	2,847	3,050	3,124	37,489
B	高額レセプト件数(件)	20	20	29	29	27	25	305
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.6%	1.0%	1.0%	0.9%	0.8%	
C	医療費(円) ※	75,799,460	71,186,120	78,707,090	74,100,570	72,574,320	74,393,059	892,716,710
D	高額レセプトの医療費(円) ※	26,618,950	24,186,560	34,059,680	28,535,590	23,582,040	25,828,144	309,937,730
E	その他レセプトの医療費(円) ※	49,180,510	46,999,560	44,647,410	45,564,980	48,992,280	48,564,915	582,778,980
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	35.1%	34.0%	43.3%	38.5%	32.5%	34.7%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「くも膜下出血」「白血病」「腎不全」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0904	くも膜下出血	脳底動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1	13,368,410	414,780	13,783,190	13,783,190
2	0209	白血病	慢性骨髄性白血病急性転化	1	10,092,030	2,319,170	12,411,200	12,411,200
3	1402	腎不全	慢性腎不全	1	10,890,510	0	10,890,510	10,890,510
4	0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	1	9,284,840	0	9,284,840	9,284,840
5	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	2	4,993,410	12,972,030	17,965,440	8,982,720
6	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併あり	1	8,085,020	127,540	8,212,560	8,212,560
7	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺門部小細胞癌	3	8,946,450	14,826,100	23,772,550	7,924,183
8	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	褥瘡	1	7,215,410	0	7,215,410	7,215,410
9	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 下行結腸癌	3	7,210,130	13,185,000	20,395,130	6,798,377
10	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	カルニチン欠乏症, 水中毒	2	11,726,710	361,550	12,088,260	6,044,130
11	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	2	0	9,109,770	9,109,770	4,554,885
12	1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	1	2,526,020	1,634,860	4,160,880	4,160,880
13	0208	悪性リンパ腫	濾胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫	2	7,902,450	381,920	8,284,370	4,142,185
14	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	下肢不全麻痺	1	3,743,000	359,740	4,102,740	4,102,740
15	0603	てんかん	てんかん	1	3,790,360	124,680	3,915,040	3,915,040
16	1004	肺炎	インフルエンザ菌肺炎	1	3,387,280	414,300	3,801,580	3,801,580
17	0903	その他の心疾患	慢性心房細動, 感染性心内膜炎	2	6,345,780	850,280	7,196,060	3,598,030
18	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石性胆管炎	1	3,297,390	171,070	3,468,460	3,468,460
19	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 甲状腺癌, 多発性骨髄腫	17	27,509,340	30,884,000	58,393,340	3,434,902
20	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 腰椎化膿性脊椎炎, 頰椎症性脊髄症	5	13,314,880	2,539,620	15,854,500	3,170,900

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の呼吸器系の疾患」「脳梗塞」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 甲状腺癌, 多発性骨髄腫	17	27,509,340	30,884,000	58,393,340	3,434,902
2	1011	その他の呼吸器系の疾患	膿胸, 誤嚥性肺炎, 急性呼吸窮迫症候群	7	11,413,050	1,708,650	13,121,700	1,874,529
3	0906	脳梗塞	ラクナ梗塞, 脳梗塞後遺症, 脳梗塞	6	5,833,850	2,223,830	8,057,680	1,342,947
3	1302	関節症	変形性膝関節症, 原発性膝関節症, 続発性股関節症	6	15,129,400	1,968,040	17,097,440	2,849,573
3	1901	骨折	踵骨骨折, 脛骨近位端開放骨折, 脛骨近位端骨折	6	11,462,980	1,640,870	13,103,850	2,183,975
6	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 腰椎化膿性脊椎炎, 頸椎症性脊髄症	5	13,314,880	2,539,620	15,854,500	3,170,900
7	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌	3	6,772,610	1,857,720	8,630,330	2,876,777
7	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 下行結腸癌	3	7,210,130	13,185,000	20,395,130	6,798,377
7	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺門部小細胞癌	3	8,946,450	14,826,100	23,772,550	7,924,183
7	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	真性赤血球増加症, 卵巣腫瘍, 横行結腸腺腫	3	1,503,630	6,937,740	8,441,370	2,813,790
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	増殖性硝子体網膜症, 裂孔原性網膜剥離, 網膜前膜	3	2,713,980	1,054,790	3,768,770	1,256,257
7	1007	慢性副鼻腔炎	汎副鼻腔炎, 慢性副鼻腔炎, 好酸球性副鼻腔炎	3	1,866,660	1,474,590	3,341,250	1,113,750
7	1113	その他の消化器系の疾患	非特異性多発性小腸潰瘍, 急性虫垂炎, 便秘症	3	3,276,400	242,390	3,518,790	1,172,930
7	1304	椎間板障害	腰椎椎間板ヘルニア	3	2,857,380	462,680	3,320,060	1,106,687
7	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	膝部裂創, 前十字靭帯損傷, 手関節部切創	3	4,012,090	772,070	4,784,160	1,594,720
16	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	2	0	9,109,770	9,109,770	4,554,885
16	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	2	4,993,410	12,972,030	17,965,440	8,982,720
16	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房中央部乳癌, 乳房上外側部乳癌	2	2,081,660	3,582,530	5,664,190	2,832,095
16	0208	悪性リンパ腫	濾胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫	2	7,902,450	381,920	8,284,370	4,142,185
16	0402	糖尿病	増殖性糖尿病性網膜症・2型糖尿病, 2型糖尿病・腎合併症あり	2	2,180,410	2,391,400	4,571,810	2,285,905

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の18.4%、「循環器系の疾患」は医療費合計の12.9%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	25,850,821	2.9%	12	2,442	13	581	12	44,494	13
II. 新生物<腫瘍>	163,567,680	18.4%	1	2,918	12	690	8	237,055	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,435,063	0.5%	15	934	17	212	15	20,920	18
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	75,505,057	8.5%	5	11,709	2	1,099	3	68,703	10
V. 精神及び行動の障害	94,545,407	10.6%	3	4,506	8	382	14	247,501	1
VI. 神経系の疾患	68,346,953	7.7%	6	7,262	5	619	9	110,415	4
VII. 眼及び付属器の疾患	33,845,764	3.8%	10	4,986	7	851	6	39,772	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,156,098	0.5%	16	970	16	195	16	21,313	17
IX. 循環器系の疾患	114,498,755	12.9%	2	14,792	1	1,191	2	96,137	6
X. 呼吸器系の疾患	46,758,988	5.3%	8	5,826	6	1,065	4	43,905	14
X I. 消化器系の疾患 ※	57,906,493	6.5%	7	11,351	3	1,195	1	48,457	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	21,281,634	2.4%	13	3,237	11	596	11	35,707	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	86,952,247	9.8%	4	9,493	4	1,021	5	85,164	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	40,629,377	4.6%	9	3,439	10	607	10	66,935	11
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,286,277	0.1%	19	34	20	12	19	107,190	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	714,084	0.1%	20	4	21	3	21	238,028	2
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,491,651	0.3%	17	103	18	36	18	69,213	9
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,624,245	1.3%	14	4,225	9	739	7	15,730	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	32,589,233	3.7%	11	1,592	14	399	13	81,677	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,134,235	0.2%	18	1,214	15	169	17	12,629	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	41,218	0.0%	21	41	19	6	20	6,870	21
合計	889,161,280			37,305		2,183		407,312	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

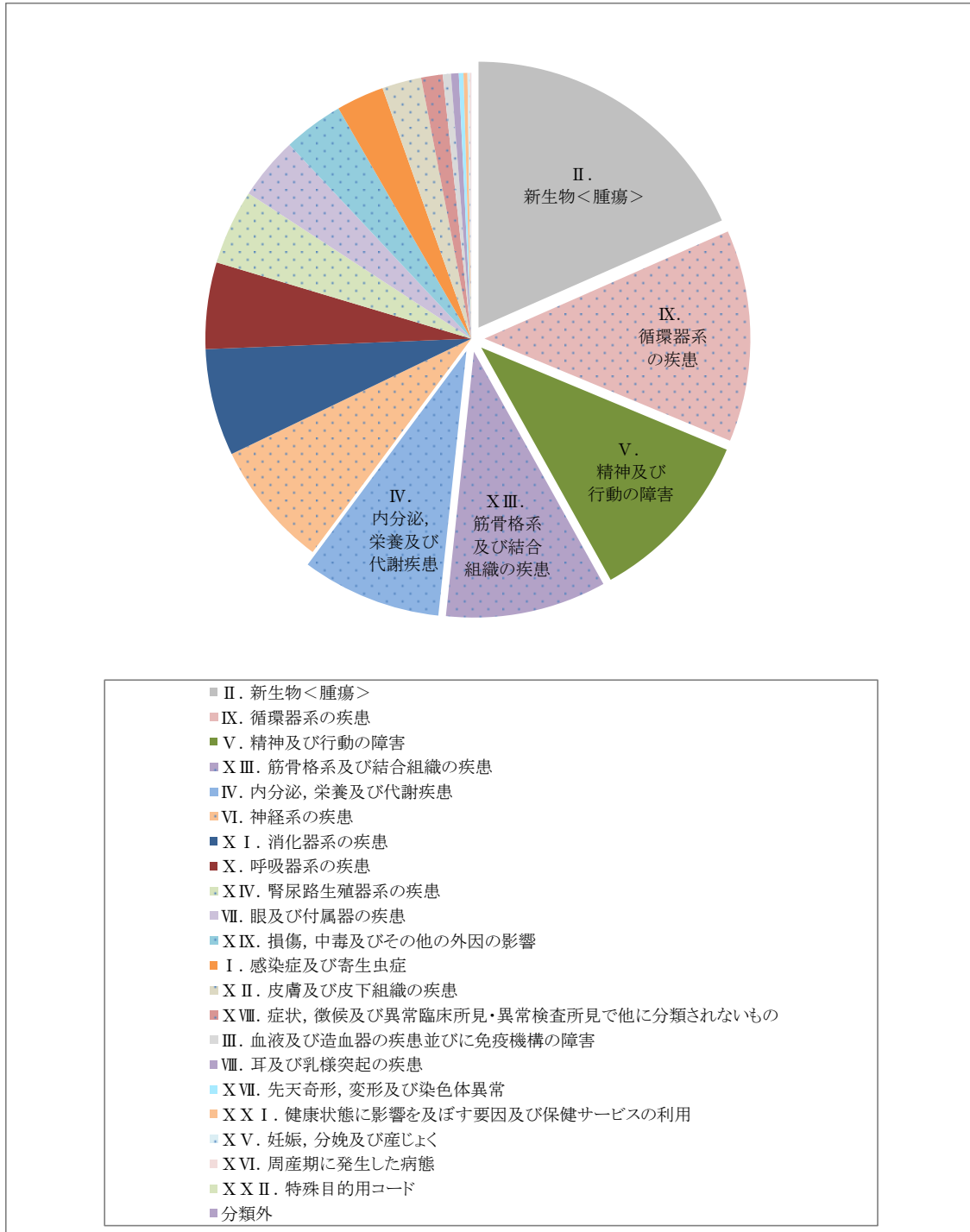
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「精神及び行動の障害」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌，栄養及び代謝疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	63,283,281	7.1%	317
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	62,755,533	7.1%	110
3	0901 高血圧性疾患	43,497,296	4.9%	961
4	0402 糖尿病	37,291,852	4.2%	630
5	0606 その他の神経系の疾患	30,269,798	3.4%	541
6	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	26,013,181	2.9%	83
7	1113 その他の消化器系の疾患	25,426,115	2.9%	678
8	0903 その他の心疾患	24,420,852	2.7%	529
9	0602 アルツハイマー病	23,423,984	2.6%	25
10	1402 腎不全	21,410,483	2.4%	164

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	43,497,296	961	44.0%
2	0703 屈折及び調節の障害	3,721,883	744	34.1%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,624,245	739	33.9%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	10,724,263	691	31.7%
5	1113 その他の消化器系の疾患	25,426,115	678	31.1%
6	0402 糖尿病	37,291,852	630	28.9%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	15,704,534	573	26.2%
8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,957,801	554	25.4%
9	0403 脂質異常症	21,164,643	547	25.1%
10	0606 その他の神経系の疾患	30,269,798	541	24.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0904 くも膜下出血	10,342,654	4	2,585,664
2	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	14,632,009	9	1,625,779
3	0209 白血病	5,331,241	4	1,332,810
4	0602 アルツハイマー病	23,423,984	25	936,959
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	62,755,533	110	570,505
6	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7,872,085	14	562,292
7	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	26,013,181	83	313,412
8	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	522,485	2	261,243
9	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1,974,427	8	246,803
10	0208 悪性リンパ腫	4,683,888	21	223,042

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	889,161,280		37,305		2,183	

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	25,850,821	2.9%		2,442	6.5%		581	26.6%		44,494	
0101 腸管感染症	738,945	0.1%	92	396	1.1%	60	143	6.6%	47	5,167	110
0102 結核	1,856,586	0.2%	76	47	0.1%	104	16	0.7%	98	116,037	20
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	343,020	0.0%	102	73	0.2%	96	35	1.6%	83	9,801	99
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	1,230,222	0.1%	82	325	0.9%	69	101	4.6%	58	12,180	88
0105 ウイルス性肝炎	11,489,539	1.3%	26	471	1.3%	55	103	4.7%	56	111,549	21
0106 その他のウイルス性疾患	2,824,434	0.3%	63	67	0.2%	98	24	1.1%	94	117,685	19
0107 真菌症	5,040,978	0.6%	43	795	2.1%	45	179	8.2%	38	28,162	62
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	9,113	0.0%	118	10	0.0%	113	2	0.1%	116	4,557	113
0109 その他の感染症及び寄生虫症	2,317,984	0.3%	68	471	1.3%	55	154	7.1%	43	15,052	80
II. 新生物<腫瘍>	163,567,680	18.4%		2,918	7.8%		690	31.6%		237,055	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	9,865,770	1.1%	33	434	1.2%	59	134	6.1%	51	73,625	28
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	19,578,995	2.2%	14	507	1.4%	53	178	8.2%	39	109,994	22
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	14,632,009	1.6%	19	65	0.2%	101	9	0.4%	105	1,625,779	2
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	1,147,756	0.1%	84	80	0.2%	93	33	1.5%	87	34,780	55
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	26,013,181	2.9%	6	276	0.7%	74	83	3.8%	65	313,412	7
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	7,545,103	0.8%	37	269	0.7%	75	41	1.9%	80	184,027	13
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	2,149,559	0.2%	71	137	0.4%	85	72	3.3%	69	29,855	60
0208 悪性リンパ腫	4,683,888	0.5%	46	82	0.2%	92	21	1.0%	95	223,042	10
0209 白血病	5,331,241	0.6%	42	40	0.1%	107	4	0.2%	112	1,332,810	3
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	63,283,281	7.1%	1	1,248	3.3%	34	317	14.5%	23	199,632	11
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	9,336,897	1.1%	35	792	2.1%	46	298	13.7%	25	31,332	56
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,435,063	0.5%		934	2.5%		212	9.7%		20,920	
0301 貧血	1,731,123	0.2%	79	615	1.6%	51	147	6.7%	46	11,776	89
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,703,940	0.3%	66	388	1.0%	63	101	4.6%	58	26,772	66
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	75,505,057	8.5%		11,709	31.4%		1,099	50.3%		68,703	
0401 甲状腺障害	4,097,248	0.5%	54	1,037	2.8%	37	225	10.3%	31	18,210	76
0402 糖尿病	37,291,852	4.2%	4	5,418	14.5%	5	630	28.9%	6	59,193	35
0403 脂質異常症	21,164,643	2.4%	11	6,580	17.6%	2	547	25.1%	9	38,692	49
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	12,951,314	1.5%	24	2,609	7.0%	15	365	16.7%	17	35,483	54
V. 精神及び行動の障害	94,545,407	10.6%		4,506	12.1%		382	17.5%		247,501	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	134,846	0.0%	110	84	0.2%	90	13	0.6%	101	10,373	97
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1,974,427	0.2%	74	72	0.2%	97	8	0.4%	107	246,803	9
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	62,755,533	7.1%	2	1,405	3.8%	31	110	5.0%	55	570,505	5

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	889,161,280	37,305	2,183

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	17,419,016	2.0%	15	1,924	5.2%	22	138	6.3%	49	126,225	18
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	4,196,883	0.5%	53	2,447	6.6%	16	222	10.2%	32	18,905	74
0506	知的障害<精神遅滞>	809,178	0.1%	91	22	0.1%	111	9	0.4%	105	89,909	25
0507	その他の精神及び行動の障害	7,255,524	0.8%	38	243	0.7%	77	38	1.7%	82	190,935	12
VI. 神経系の疾患		68,346,953	7.7%		7,262	19.5%		619	28.4%		110,415	
0601	パーキンソン病	2,776,503	0.3%	65	374	1.0%	65	35	1.6%	83	79,329	27
0602	アルツハイマー病	23,423,984	2.6%	9	277	0.7%	73	25	1.1%	92	936,959	4
0603	てんかん	10,201,477	1.1%	31	801	2.1%	44	73	3.3%	67	139,746	15
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1,058,795	0.1%	86	50	0.1%	103	6	0.3%	108	176,466	14
0605	自律神経系の障害	616,396	0.1%	95	718	1.9%	50	65	3.0%	73	9,483	100
0606	その他の神経系の疾患	30,269,798	3.4%	5	6,166	16.5%	3	541	24.8%	10	55,952	36
VII. 眼及び付属器の疾患		33,845,764	3.8%		4,986	13.4%		851	39.0%		39,772	
0701	結膜炎	4,246,164	0.5%	51	2,045	5.5%	19	397	18.2%	14	10,696	96
0702	白内障	10,173,183	1.1%	32	2,220	6.0%	17	339	15.5%	21	30,009	59
0703	屈折及び調節の障害	3,721,883	0.4%	58	3,776	10.1%	9	744	34.1%	2	5,003	111
0704	その他の眼及び付属器の疾患	15,704,534	1.8%	16	3,319	8.9%	12	573	26.2%	7	27,408	63
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		4,156,098	0.5%		970	2.6%		195	8.9%		21,313	
0801	外耳炎	111,021	0.0%	112	78	0.2%	94	26	1.2%	91	4,270	115
0802	その他の外耳疾患	166,163	0.0%	106	90	0.2%	89	45	2.1%	77	3,693	117
0803	中耳炎	1,005,640	0.1%	87	121	0.3%	87	41	1.9%	80	24,528	70
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	115,934	0.0%	111	58	0.2%	102	15	0.7%	99	7,729	105
0805	メニエール病	637,227	0.1%	94	370	1.0%	66	56	2.6%	74	11,379	93
0806	その他の内耳疾患	564,275	0.1%	99	171	0.5%	84	21	1.0%	95	26,870	65
0807	その他の耳疾患	1,555,838	0.2%	80	330	0.9%	68	71	3.3%	70	21,913	72
IX. 循環器系の疾患		114,498,755	12.9%		14,792	39.7%		1,191	54.6%		96,137	
0901	高血圧性疾患	43,497,296	4.9%	3	12,788	34.3%	1	961	44.0%	1	45,263	44
0902	虚血性心疾患	10,648,759	1.2%	28	1,894	5.1%	24	222	10.2%	32	47,967	41
0903	その他の心疾患	24,420,852	2.7%	8	4,729	12.7%	7	529	24.2%	11	46,164	43
0904	くも膜下出血	10,342,654	1.2%	29	11	0.0%	112	4	0.2%	112	2,585,664	1
0905	脳内出血	4,373,929	0.5%	49	182	0.5%	83	34	1.6%	86	128,645	17
0906	脳梗塞	13,350,963	1.5%	23	1,660	4.4%	26	156	7.1%	42	85,583	26
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0908	その他の脳血管疾患	3,715,310	0.4%	59	246	0.7%	76	71	3.3%	70	52,328	39
0909	動脈硬化(症)	1,766,608	0.2%	78	887	2.4%	41	152	7.0%	44	11,622	91
0911	低血圧(症)	141,964	0.0%	108	66	0.2%	100	11	0.5%	103	12,906	85
0912	その他の循環器系の疾患	2,240,420	0.3%	69	439	1.2%	58	99	4.5%	62	22,631	71
X. 呼吸器系の疾患		46,758,988	5.3%		5,826	15.6%		1,065	48.8%		43,905	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	82,980	0.0%	114	84	0.2%	90	43	2.0%	78	1,930	118
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	839,927	0.1%	89	525	1.4%	52	198	9.1%	36	4,242	116
1003	その他の急性上気道感染症	1,909,650	0.2%	75	763	2.0%	48	239	10.9%	30	7,990	103

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	889,161,280	37,305	2,183

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	6,995,922	0.8%	39	390	1.0%	62	150	6.9%	45	46,639	42
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,957,801	0.4%	55	1,745	4.7%	25	554	25.4%	8	7,144	106
1006	アレルギー性鼻炎	4,881,389	0.5%	44	1,895	5.1%	23	370	16.9%	16	13,193	84
1007	慢性副鼻腔炎	2,456,776	0.3%	67	224	0.6%	79	46	2.1%	76	53,408	38
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	585,301	0.1%	97	357	1.0%	67	121	5.5%	52	4,837	112
1009	慢性閉塞性肺疾患	3,084,821	0.3%	62	867	2.3%	42	102	4.7%	57	30,243	57
1010	喘息	6,397,061	0.7%	40	1,517	4.1%	29	212	9.7%	34	30,175	58
1011	その他の呼吸器系の疾患	15,567,360	1.8%	17	1,010	2.7%	38	350	16.0%	18	44,478	46
X I . 消化器系の疾患		57,906,493	6.5%		11,351	30.4%		1,195	54.7%		48,457	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	10,456	0.0%	117	3	0.0%	117	2	0.1%	116	5,228	109
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	9,676,034	1.1%	34	3,614	9.7%	10	381	17.5%	15	25,396	69
1105	胃炎及び十二指腸炎	10,724,263	1.2%	27	5,032	13.5%	6	691	31.7%	4	15,520	78
1106	痔核	1,216,310	0.1%	83	386	1.0%	64	66	3.0%	72	18,429	75
1107	アルコール性肝疾患	201,313	0.0%	104	116	0.3%	88	18	0.8%	97	11,184	94
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	605,016	0.1%	96	297	0.8%	71	43	2.0%	78	14,070	82
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	849,880	0.1%	88	198	0.5%	81	32	1.5%	88	26,559	67
1110	その他の肝疾患	4,402,517	0.5%	48	1,383	3.7%	32	344	15.8%	20	12,798	86
1111	胆石症及び胆のう炎	4,217,535	0.5%	52	449	1.2%	57	114	5.2%	54	36,996	53
1112	膵疾患	577,054	0.1%	98	220	0.6%	80	82	3.8%	66	7,037	107
1113	その他の消化器系の疾患	25,426,115	2.9%	7	5,958	16.0%	4	678	31.1%	5	37,502	51
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		21,281,634	2.4%		3,237	8.7%		596	27.3%		35,707	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	2,122,003	0.2%	72	318	0.9%	70	100	4.6%	60	21,220	73
1202	皮膚炎及び湿疹	4,295,504	0.5%	50	2,168	5.8%	18	423	19.4%	12	10,155	98
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	14,864,127	1.7%	18	1,961	5.3%	21	348	15.9%	19	42,713	47
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		86,952,247	9.8%		9,493	25.4%		1,021	46.8%		85,164	
1301	炎症性多発性関節障害	13,778,419	1.5%	22	1,614	4.3%	28	208	9.5%	35	66,242	31
1302	関節症	20,776,144	2.3%	12	2,620	7.0%	14	292	13.4%	26	71,151	29
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	13,998,841	1.6%	21	2,042	5.5%	20	262	12.0%	29	53,431	37
1304	椎間板障害	4,871,847	0.5%	45	931	2.5%	40	119	5.5%	53	40,940	48
1305	頸腕症候群	826,546	0.1%	90	936	2.5%	39	100	4.6%	60	8,265	102
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	4,576,892	0.5%	47	3,449	9.2%	11	413	18.9%	13	11,082	95
1307	その他の脊柱障害	1,455,556	0.2%	81	503	1.3%	54	98	4.5%	63	14,853	81
1308	肩の傷害<損傷>	2,781,451	0.3%	64	1,470	3.9%	30	183	8.4%	37	15,199	79
1309	骨の密度及び構造の障害	20,077,496	2.3%	13	3,017	8.1%	13	310	14.2%	24	64,766	32
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	3,809,055	0.4%	56	1,659	4.4%	27	329	15.1%	22	11,578	92

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	889,161,280	37,305	2,183

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	40,629,377	4.6%		3,439	9.2%		607	27.8%		66,935	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3,583,899	0.4%	60	391	1.0%	61	73	3.3%	67	49,095	40
1402 腎不全	21,410,483	2.4%	10	1,067	2.9%	36	164	7.5%	41	130,552	16
1403 尿管結石症	1,815,323	0.2%	77	196	0.5%	82	47	2.2%	75	38,624	50
1404 その他の腎尿路系の疾患	3,769,465	0.4%	57	1,298	3.5%	33	277	12.7%	27	13,608	83
1405 前立腺肥大(症)	5,470,928	0.6%	41	791	2.1%	47	89	4.1%	64	61,471	34
1406 その他の男性生殖器系の疾患	672,087	0.1%	93	228	0.6%	78	25	1.1%	92	26,883	64
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	409,227	0.0%	101	133	0.4%	86	35	1.6%	83	11,692	90
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	3,497,965	0.4%	61	291	0.8%	72	137	6.3%	50	25,533	68
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	1,286,277	0.1%		34	0.1%		12	0.5%		107,190	
1501 流産	146,598	0.0%	107	7	0.0%	115	5	0.2%	111	29,320	61
1502 妊娠高血圧症候群	1,129	0.0%	119	1	0.0%	119	1	0.0%	119	1,129	119
1503 単胎自然分娩	730	0.0%	120	1	0.0%	119	1	0.0%	119	730	120
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	1,137,820	0.1%	85	29	0.1%	110	11	0.5%	103	103,438	23
XVI. 周産期に発生した病態	714,084	0.1%		4	0.0%		3	0.1%		238,028	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	522,485	0.1%	100	3	0.0%	117	2	0.1%	116	261,243	8
1602 その他の周産期に発生した病態	191,599	0.0%	105	4	0.0%	116	3	0.1%	114	63,866	33
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,491,651	0.3%		103	0.3%		36	1.6%		69,213	
1701 心臓の先天奇形	266,987	0.0%	103	31	0.1%	108	6	0.3%	108	44,498	45
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	2,224,664	0.3%	70	74	0.2%	95	32	1.5%	88	69,521	30
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,624,245	1.3%		4,225	11.3%		739	33.9%		15,730	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,624,245	1.3%	25	4,225	11.3%	8	739	33.9%	3	15,730	77
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	32,589,233	3.7%		1,592	4.3%		399	18.3%		81,677	
1901 骨折	14,265,412	1.6%	20	755	2.0%	49	139	6.4%	48	102,629	24
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7,872,085	0.9%	36	43	0.1%	105	14	0.6%	100	562,292	6
1903 熱傷及び腐食	92,929	0.0%	113	31	0.1%	108	12	0.5%	102	7,744	104
1904 中毒	135,059	0.0%	109	67	0.2%	98	30	1.4%	90	4,502	114
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	10,223,748	1.1%	30	864	2.3%	43	276	12.6%	28	37,043	52
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,134,235	0.2%		1,214	3.3%		169	7.7%		12,629	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	26,100	0.0%	116	9	0.0%	114	3	0.1%	114	8,700	101
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	889,161,280	37,305	2,183

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	2,108,135	0.2%	73	1,205	3.2%	35	166	7.6%	40	12,700	87
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		41,218	0.0%		41	0.1%		6	0.3%		6,870	
9999	分類外	41,218	0.0%	115	41	0.1%	106	6	0.3%	108	6,870	108

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

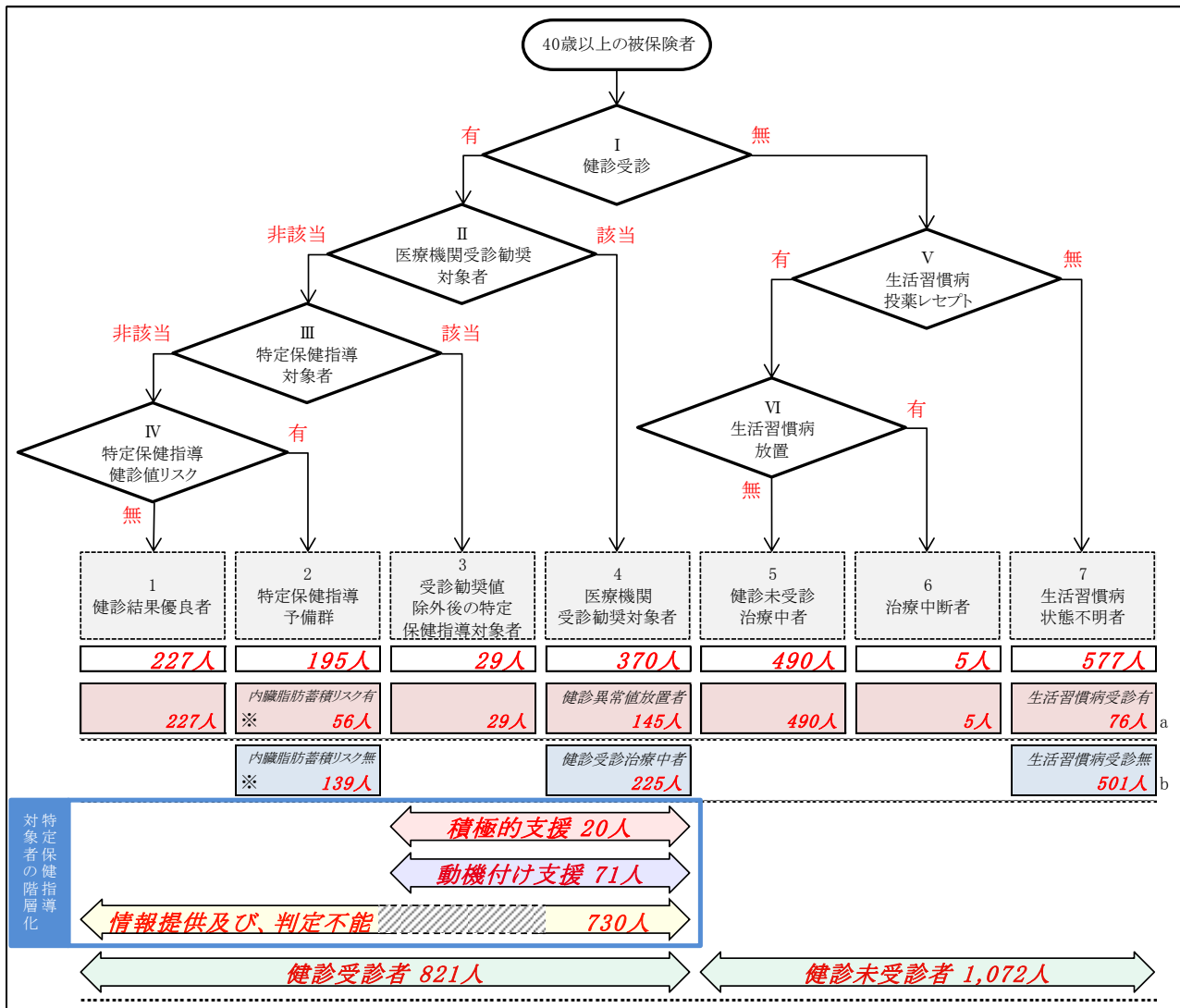
3. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

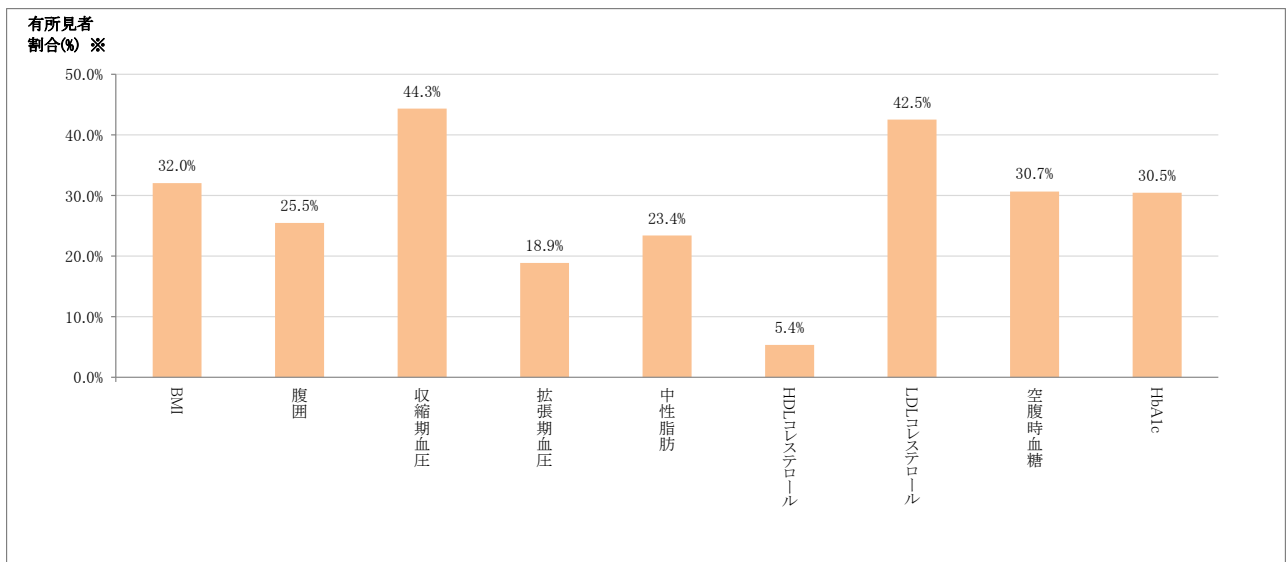
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	821	821	821	821
有所見者数(人) ※	263	209	364	155
有所見者割合(%) ※	32.0%	25.5%	44.3%	18.9%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	821	821	821	809	821
有所見者数(人) ※	192	44	349	248	250
有所見者割合(%) ※	23.4%	5.4%	42.5%	30.7%	30.5%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

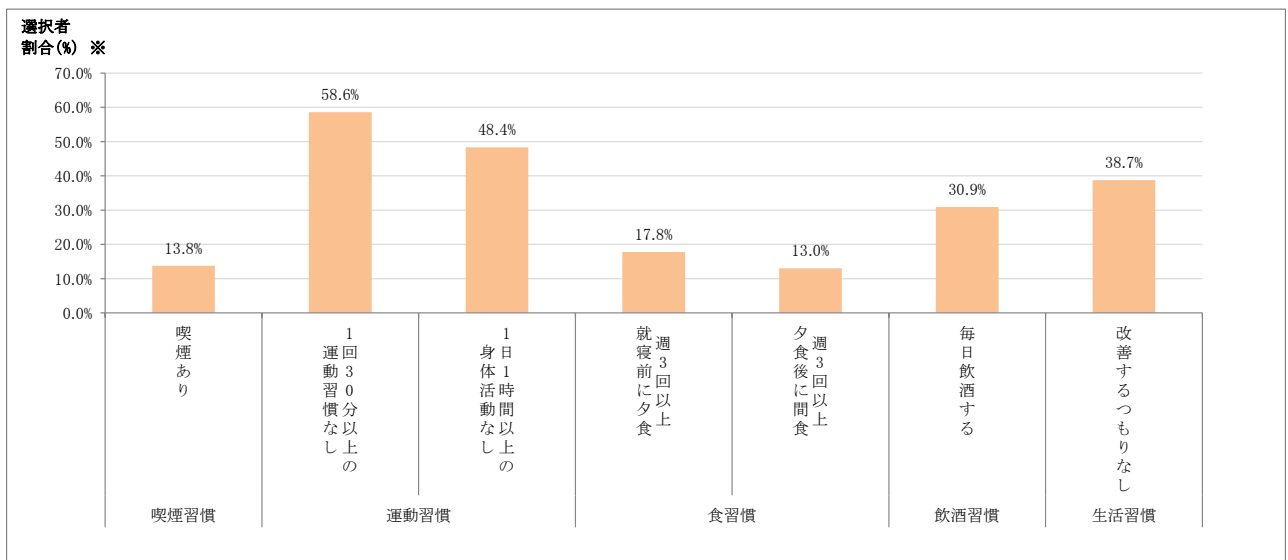
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	821	821	821
選択者数(人) ※	113	481	397
選択者割合(%) ※	13.8%	58.6%	48.4%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	821	821	821	821
選択者数(人) ※	146	107	254	318
選択者割合(%) ※	17.8%	13.0%	30.9%	38.7%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は91人である。このうち、積極的支援の対象者は20人、動機付け支援の対象者は71人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			91人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	1人	20人
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	2人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	0人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	1人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	2人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	3人	
	●		●			血糖+脂質	1人	
	●		●	●		血圧+脂質	4人	
		●		●		血糖+喫煙	0人	
		●		●		血圧+喫煙	2人	
			●	●	因子数1	脂質+喫煙	4人	
	●					血糖	0人	
		●			因子数0	血圧	0人	
		●		脂質		0人		
			●	喫煙		0人		
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	0人	71人
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	5人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	0人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	1人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	0人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	10人	
	●		●			血糖+脂質	3人	
	●		●	●		血圧+脂質	7人	
		●		●		血糖+喫煙	0人	
		●		●		血圧+喫煙	3人	
			●	●	因子数1	脂質+喫煙	2人	
	●					血糖	12人	
		●			因子数0	血圧	22人	
		●		脂質		6人		
			●	喫煙		0人		
				因子数0	なし	0人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

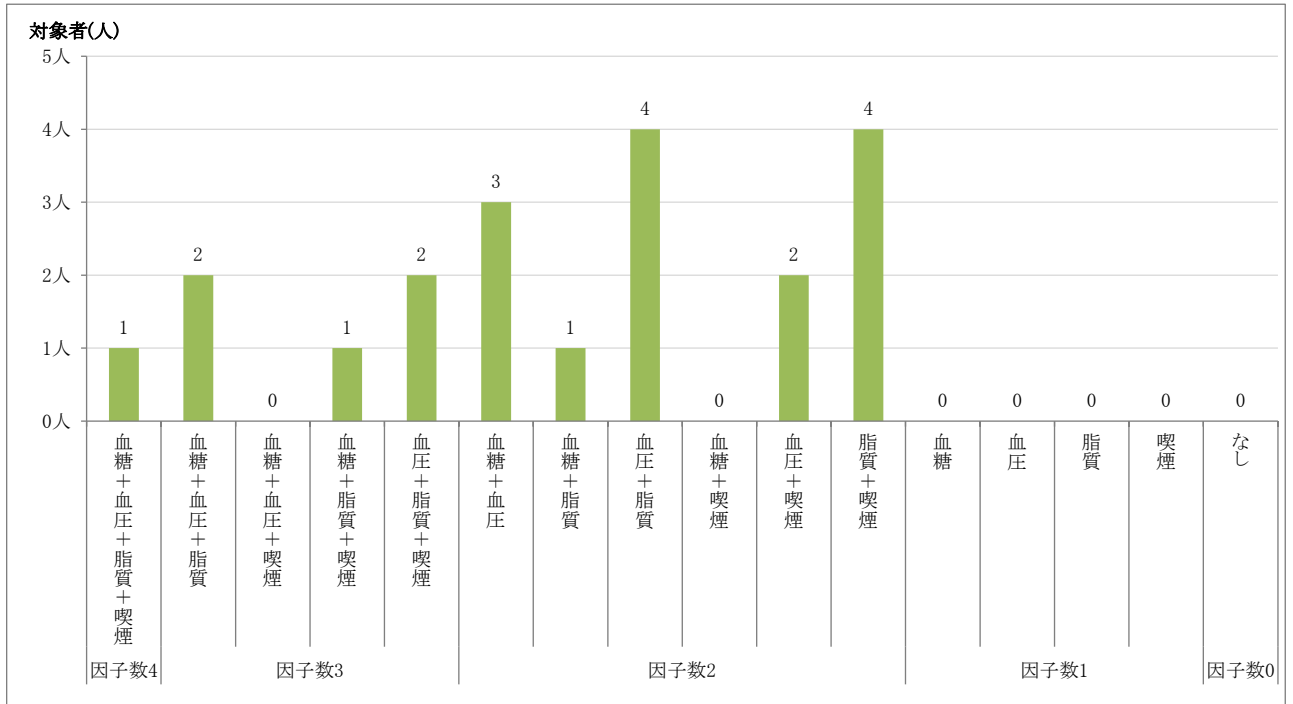
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

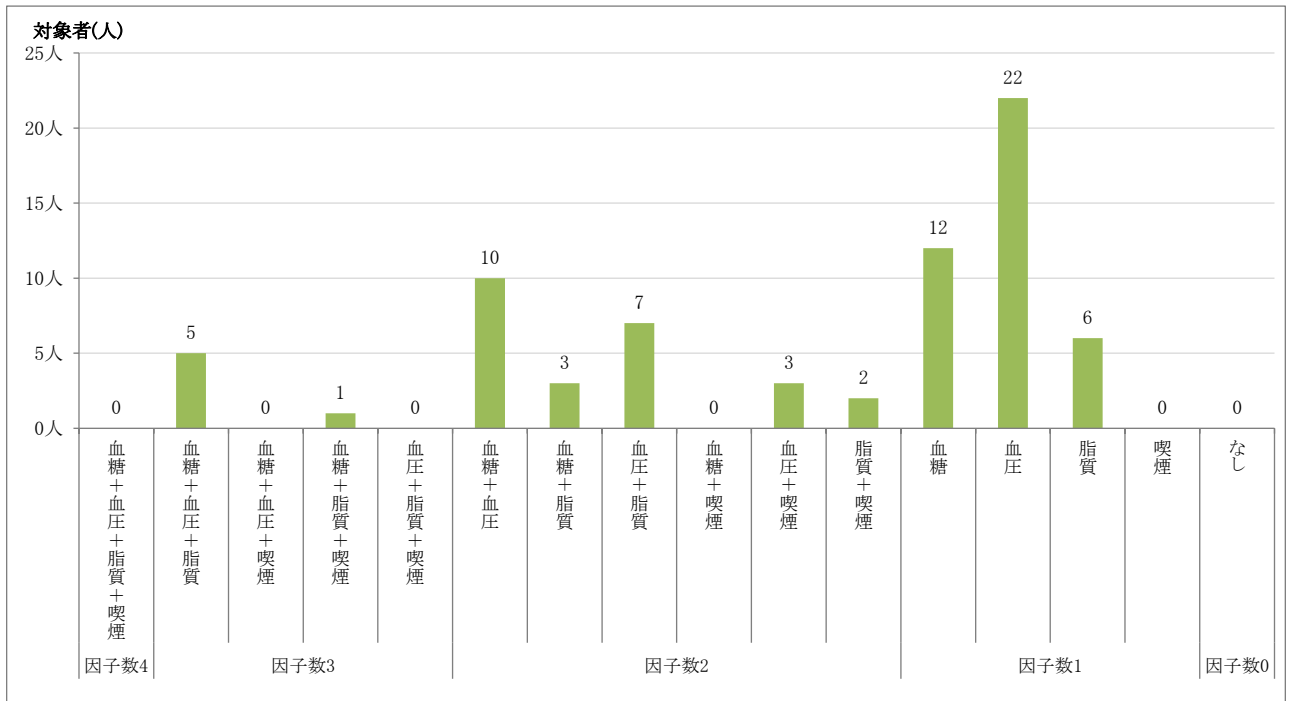
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する145人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	145 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、難病等
	34 人
↓	
除外患者を除いた候補者数	111 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者111人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0人	候補者C 2人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 4人	候補者D 13人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 24人	候補者F 68人
	喫煙	非喫煙	
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			111人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者8人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 5 人
	上記以外のグループ	3 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		8 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
除外	がん、難病等	除外理由別人数 0 人
	除外患者を除き、候補者となった患者数 8 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者8人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 0人	候補者B2 1人	候補者B3 1人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 0人	候補者C2 3人	候補者C3 3人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				8人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、33.3%が生活習慣を起因とするものであり、その33.3%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

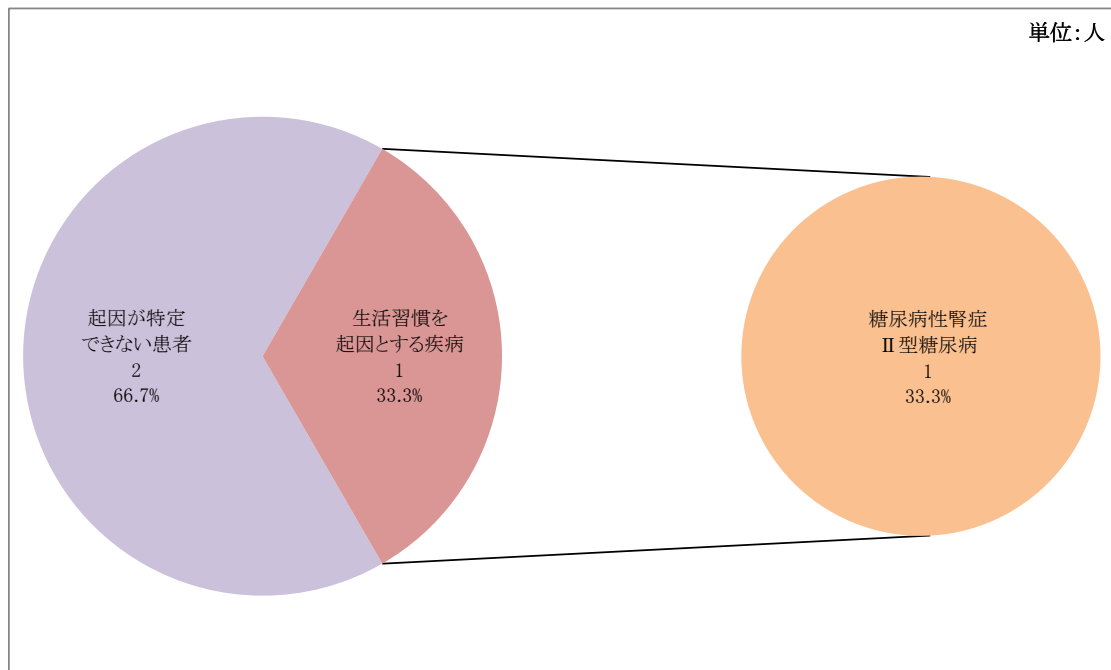
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	3
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	3

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

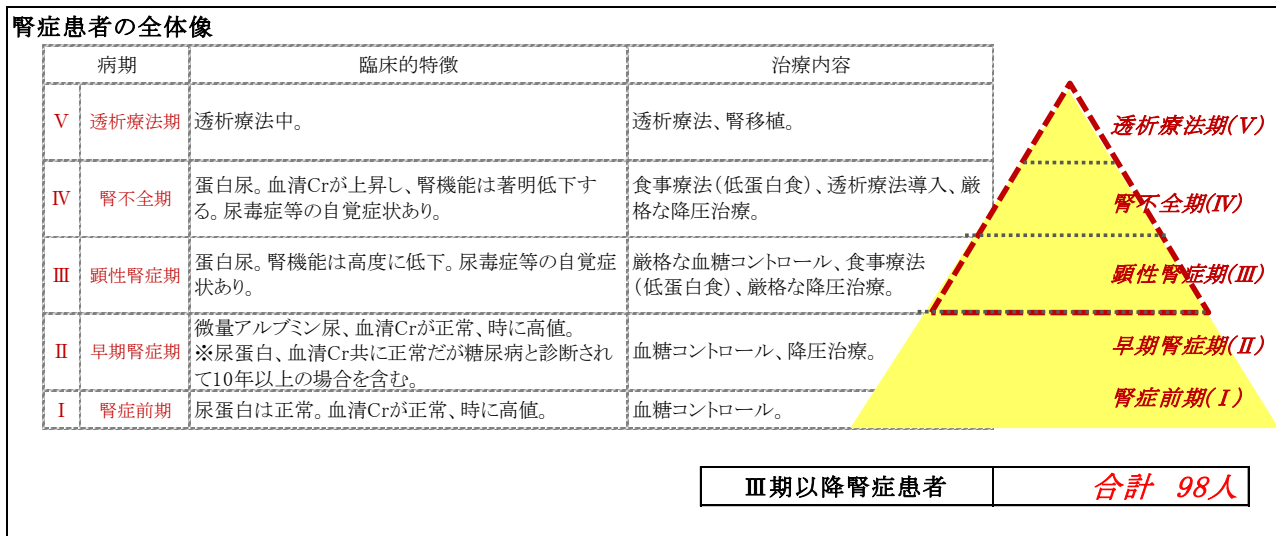
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者98人中28人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像



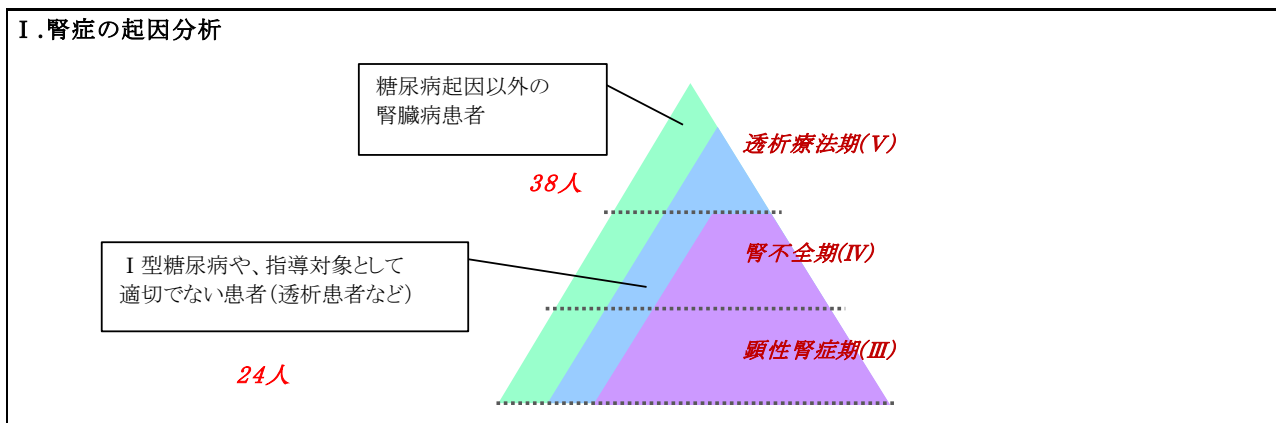
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、38人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、24人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析



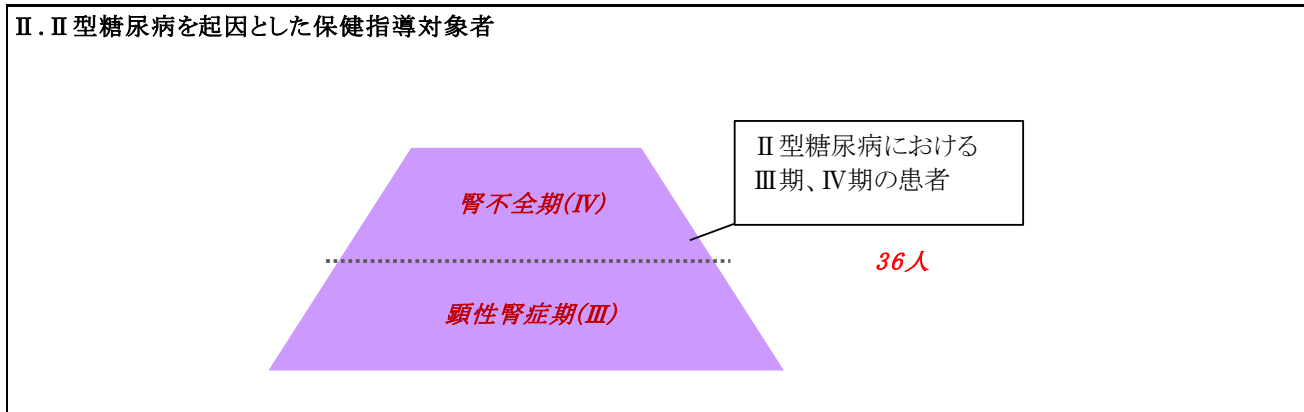
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて36人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

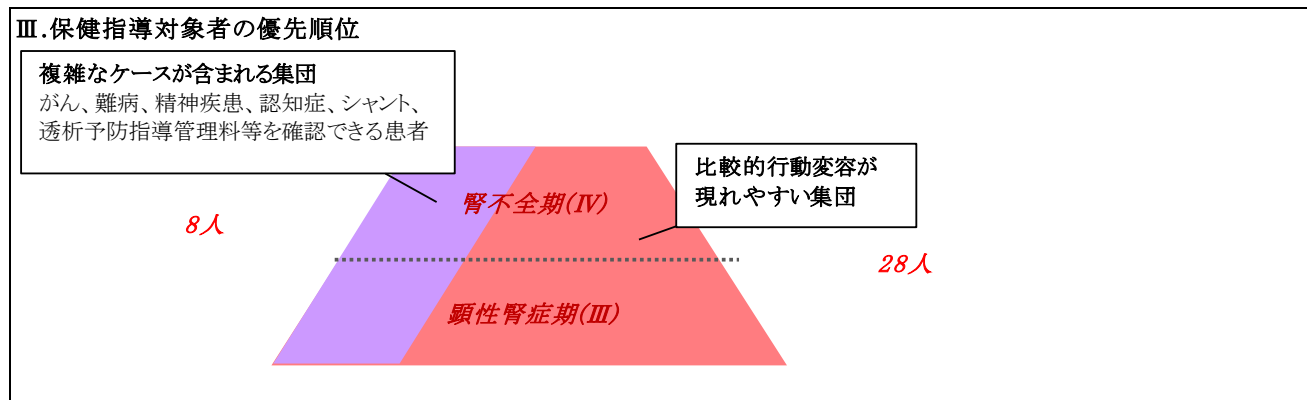


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。36人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、8人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、28人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

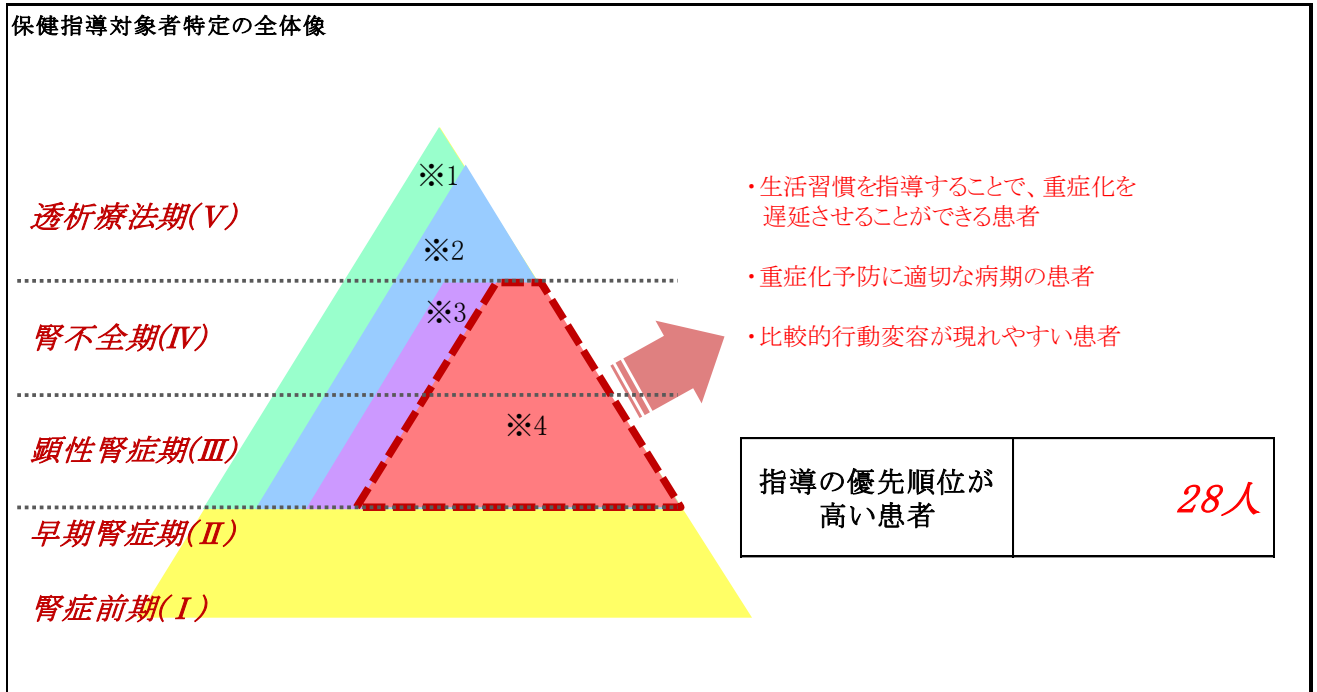
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、28人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	1	1	0	0	1	0	0	4	2	0	1	1
12カ月間の延べ人数											11	
12カ月間の実人数											10	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	1	3	2	2	4	3	4	5	3	3	5	2
12カ月間の延べ人数											37	
12カ月間の実人数											13	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	1	6	5	12	9	5	9	7	11	12	13	9
12カ月間の延べ人数											99	
12カ月間の実人数											53	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は10人、頻回受診者は13人、重複服薬者は53人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 	
条件設定により候補者となった患者数	73 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	62 人
除外②	がん、難病等 ※	62 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数		11 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者11人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは1人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 1人	候補者C 0人	候補者 としない 10人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 0人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 0人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			1人	

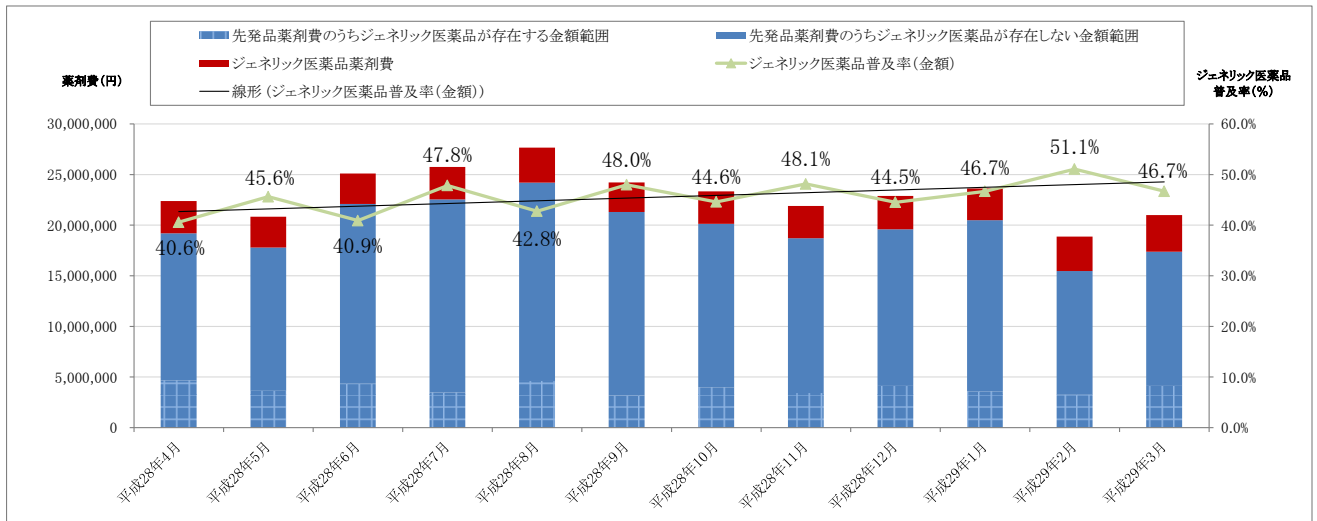
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は45.4%(金額ベース)、71.2%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

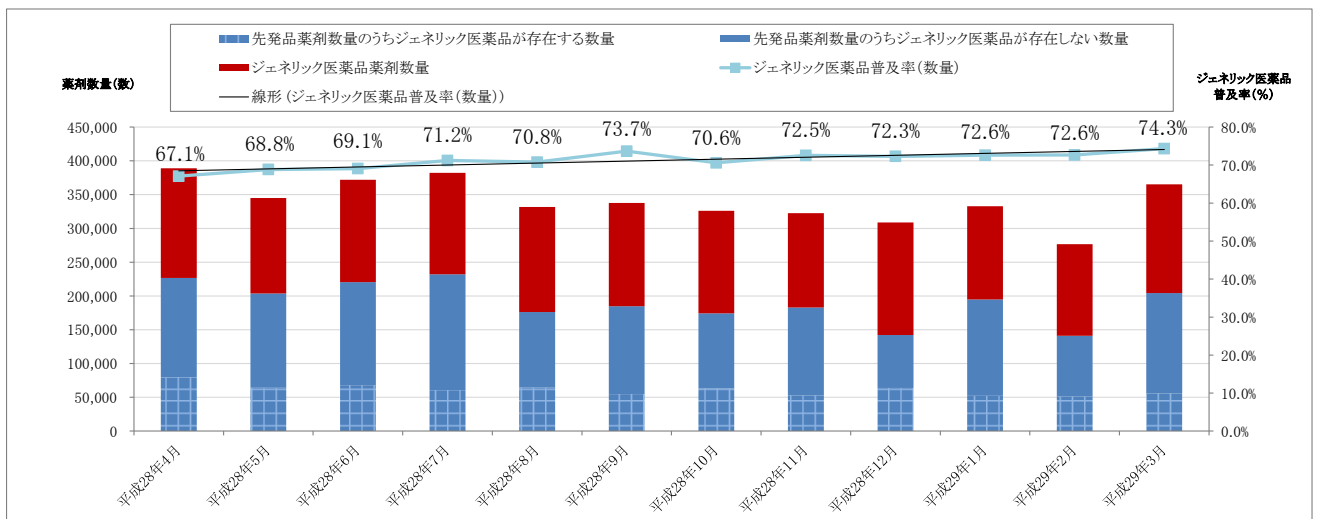


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



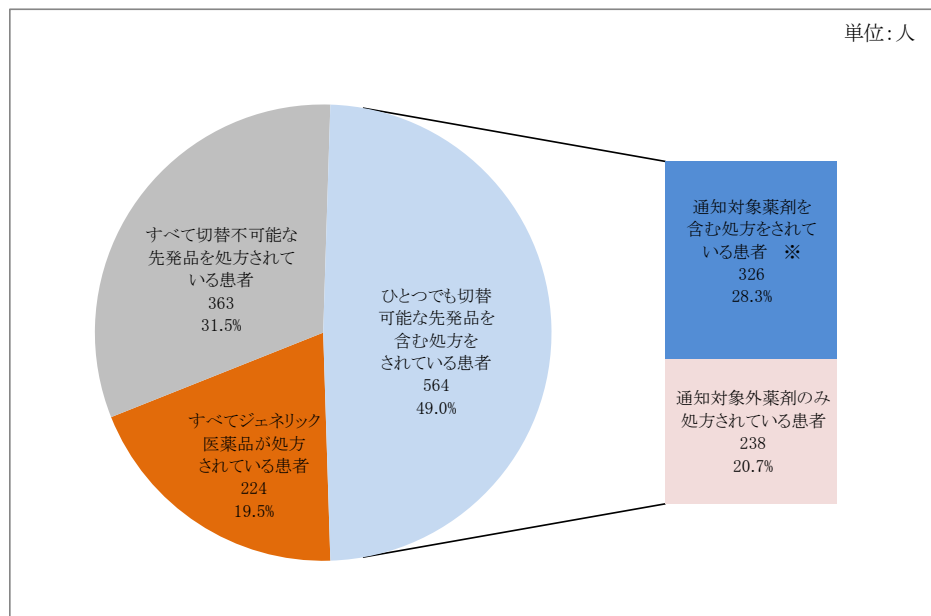
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は1,151人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は564人で患者数全体の49.0%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、326人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の28.3%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(9) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は56人、実人数は36人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人)※	4	3	4	2	4	2	6	5	5	8	7	6
12カ月間の延べ人数											56	
12カ月間の実人数											36	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	36
件数合計(件)	76

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	22
2	内服	620008614	ケーサブライ錠600mg	内服	620005825	セララ錠50mg	12
3	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	11
4	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	8
5	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	3
6	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620005586	リスバダールOD錠1mg	2
7	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	2
8	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	2
9	内服	620003931	クラリスロマイシン錠200mg「サンド」	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	2
10	内服	614310035	ヨウ化ナトリウム(131I)カプセル 185MBq	内服	620004391	メルカゾール錠5mg	2
11	内服	614310033	ヨウ化ナトリウム(131I)カプセル 37MBq	内服	620004391	メルカゾール錠5mg	2
12	内服	621520803	アセトアミノフェン錠200mg「JG」	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	1
13	内服	622028201	インヴェガ錠3mg	内服	620005586	リスバダールOD錠1mg	1
14	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	1
15	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620160501	PL配合顆粒	1
16	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	1
17	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムピコートタービュヘイラー60吸入	1
18	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421117	ホクナリンテープ2mg	1
19	内服	614310035	ヨウ化ナトリウム(131I)カプセル 185MBq	内服	614310033	ヨウ化ナトリウム(131I)カプセル 37MBq	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(10) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は182人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	328	96	103	111	138	397	625	811	2,609	
薬剤種類数	1種類	3	1	2	0	2	11	7	6	32
	2種類	2	2	0	3	1	14	14	14	50
	3種類	2	0	1	1	1	8	11	18	42
	4種類	4	2	0	0	5	13	15	24	63
	5種類	2	0	1	0	4	11	14	19	51
	6種類	1	0	0	0	3	9	17	17	47
	7種類	0	1	1	0	1	5	11	13	32
	8種類	0	2	0	0	0	3	9	13	27
	9種類	0	2	1	1	2	2	8	17	33
	10種類	0	0	0	1	0	3	1	8	13
	11種類	0	1	0	1	1	0	3	5	11
	12種類	0	0	0	1	0	1	1	2	5
	13種類	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	14種類	0	0	0	0	0	0	2	3	5
	15種類	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	16種類	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	17種類	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	18種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	19種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21種類以上	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	14	11	6	8	20	81	118	162	420	



長期多剤服薬者数(人)※	182
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者182人が被保険者全体に占める割合は7.0%、長期服薬者全体に占める割合は43.3%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	328	96	103	111	138	397	625	811	2,609
B	長期服薬者数(人)※	14	11	6	8	20	81	118	162	420
C	長期多剤服薬者数(人)※	1	6	2	4	7	24	57	81	182
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.3%	6.3%	1.9%	3.6%	5.1%	6.0%	9.1%	10.0%	7.0%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	7.1%	54.5%	33.3%	50.0%	35.0%	29.6%	48.3%	50.0%	43.3%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

4. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	新生物<腫瘍>	163,567,680円
2位	循環器系の疾患	114,498,755円
3位	精神及び行動の障害	94,545,407円
患者数が多い疾病		患者数
1位	消化器系の疾患	1,195人
2位	循環器系の疾患	1,191人
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,099人
患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	247,501円
2位	周産期に発生した病態	238,028円
3位	新生物<腫瘍>	237,055円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	63,283,281円
2位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	62,755,533円
3位	高血圧性疾患	43,497,296円
患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	961人
2位	屈折及び調節の障害	744人
3位	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	739人
患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	くも膜下出血	2,585,664円
2位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	1,625,779円
3位	白血病	1,332,810円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	305件
高額レセプト件数割合	0.8%
高額レセプト医療費割合	34.7%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	くも膜下出血	13,783,190円
2位	白血病	12,411,200円
3位	腎不全	10,890,510円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	145人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	8人
------------	----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	3人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	1人

【医療機関受診状況】

重複受診者	10人
頻回受診者	13人
重複服薬者	53人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	71.2%
--------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	36人
-----------	-----

【服薬状況】

長期多剤服薬者	182人
---------	------

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健康診査の受診勧奨 ・ 特定保健指導の実施
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診異常値放置者受診勧奨 ・ 生活習慣病治療中断者受診勧奨
<p>◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病性腎症重症化予防
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受診行動適正化指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジェネリック医薬品差額通知
<p>◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する。医療機関等に情報提供し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤併用禁忌防止
<p>◆服薬の状況 多数の長期多剤服薬者が存在する。多剤服薬は副作用が起りやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服薬情報通知

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

(1) 分析結果に基づく事業

優先順位	事業名	事業目的	事業概要
1	特定健康診査受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
2	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
3	健診異常値放置者受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
7	生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者の減少	かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
8	糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。
9	受診行動適正化指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
4	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
5	薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の発生件数減少	レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関等へ情報提供を行う。
6	服薬情報通知事業	服薬の適正化	レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。

(2) その他の実施事業

事業名	事業目的	事業概要
がん検診推進事業	検診の受診率向上とがんの早期発見・早期治療	特定健康診査の結果から対象者を特定し診査の受診を促す。
健康教育・健康相談	健康に関する正しい知識の普及	地域の老人クラブ等を対象として運動の必要性及び方法について指導する。
生活習慣病予防教室	生活習慣病予防対策	「食事」と「運動」を中心とした教室を開催し、行動変容できるように支援する。
減塩教室	胃がん死亡率の減	各地区出前講座において食生活改善運動を展開する。
脳ドック助成事業	脳血管疾患の早期発見早期治療による死亡者の減	脳ドック助成事業のPRを強化し、受診につなげる。

実施内容	目標値	
	アウトプット（事業実施量）	アウトカム（成果）
平成30年度～平成35年度		
対象者への受診案内通知と受診健券の送付。受診しやすい環境整備（がん検診同時実施、医療機関検診、追加健診の実施）と未受診者への電話勧奨と個別通知を行う。	対象者への通知率 100%	対象者の特定健康診査受診率 60%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する。	対象者の指導実施率 90% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 50% 積極的支援及び動機付け支援対象者 50% 減少
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 70% 健診異常値放置者 50% 減少
生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 90% 生活習慣病治療中断者 100% 減少
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	対象者の指導実施率 90% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 90% 指導完了者の検査値改善率 90% 新規人工透析患者割合 0%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に対象者の受診行動が適切となっているかを確認する。	対象者の指導実施率 90% 以上	指導完了者の受診行動適正化 90% 指導完了者の医療費 20% 減少 重複・頻回受診者、重複服薬者 50% 減少
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し郵送する。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 90% ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%
医師、薬剤師へ薬剤併用禁忌情報の提供を行う。医療機関への情報提供後、薬剤併用禁忌の発生状況を確認する。	医療機関への情報提供 100%	対象者の薬剤併用禁忌発生 50% 減少 薬剤併用禁忌対象者割合 50ポイント 減少
対象者を特定し、服薬情報通知書を発送する。通知後に対象者の服薬状況が適正となっているかを確認する。	対象者への通知率 100%	対象者における服薬の適正化 50% 減少 長期多剤服薬者割合 50ポイント 減少

実施内容	目標値	
	アウトプット（事業実施量）	アウトカム（成果）
平成30年度～平成35年度		
対象者への受診案内通知とがん好発年齢層の検診料金無料化を実施する。未受診者への電話勧奨と個別通知を行う。	対象者への通知率 100%	対象者の受診率 50%
各地区を巡回し、定期的に健康教育・健康相談を行う。	各地区定期実施	実施回数 年150回
特定健診の結果に基づきメタボリックシンドローム予備軍と該当者を対象に個別通知を行い、調理実習や運動の実技を通し継続した支援を行う。	対象者への通知率100%	実施回数 年6回
各地区で栄養学習を実施。イベント等で減塩みそ汁の試飲、みそ汁の塩分測定等を実施する。	各地区定期実施	参加者数 年50人
40～70歳未満の国保加入者を対象に脳ドックの費用の補助を行う。	対象者への通知率100%	受診者数 年10人

2. 全体スケジュール

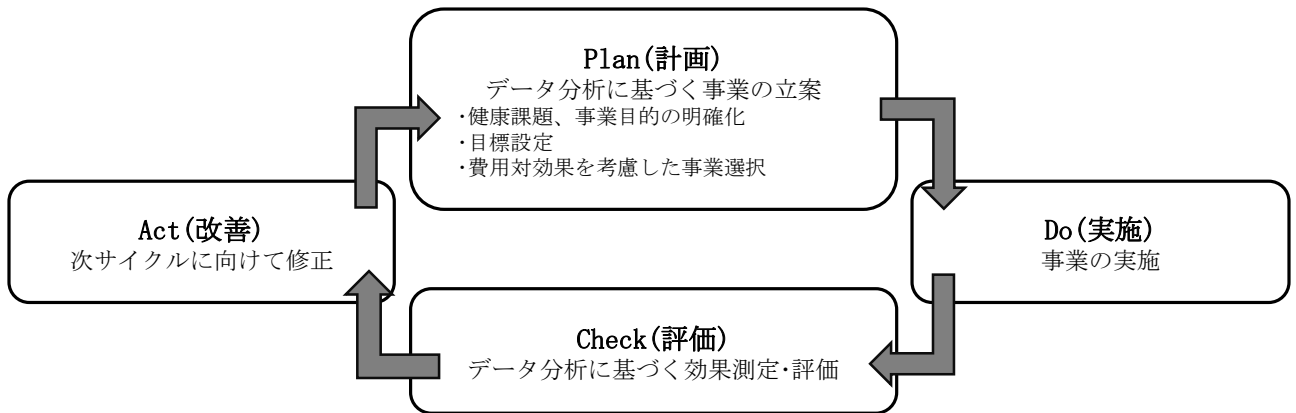
各事業におけるスケジュールについて以下に示す。事業計画策定(P)、指導の実施(D)、効果の測定(C)、次年度に向けた改善(A)、を1サイクルとして実施する。継続的にレポートと健診データをデータベース化し、事業実施と効果測定を行う。

事業名	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査 受診勧奨事業	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
特定保健指導事業	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
健診異常値放置者 受診勧奨事業	P D	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	P D	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
糖尿病性腎症 重症化予防事業	P D	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	P D	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
ジェネリック 医薬品差額通知事業	P D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
薬剤併用禁忌 防止事業	P D	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
服薬情報通知事業	P D	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
がん検診推進事業	P D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
健康教育・健康相談	P D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
生活習慣予防教室	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
減塩教室	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP
脳ドック助成事業	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP	D CAP

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

地区分析

1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【五城目地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	8,510,238	2.3%	13	1,001	13	259	11	32,858	14
II. 新生物<腫瘍>	88,497,263	23.7%	1	1,296	12	294	8	301,011	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,412,927	0.4%	17	442	16	90	15	15,699	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	34,605,073	9.3%	4	5,195	2	499	3	69,349	7
V. 精神及び行動の障害	35,436,435	9.5%	3	1,899	8	168	14	210,931	2
VI. 神経系の疾患	28,192,893	7.6%	6	2,984	5	257	12	109,700	3
VII. 眼及び付属器の疾患	16,516,310	4.4%	9	2,268	7	382	6	43,236	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,815,089	0.5%	16	284	17	74	17	24,528	15
IX. 循環器系の疾患	45,784,921	12.3%	2	6,391	1	522	1	87,711	5
X. 呼吸器系の疾患	18,048,613	4.8%	8	2,533	6	476	4	37,917	12
X I. 消化器系の疾患 ※	20,989,291	5.6%	7	4,482	3	503	2	41,728	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	10,354,709	2.8%	12	1,483	10	275	9	37,653	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	33,030,640	8.9%	5	3,847	4	430	5	76,815	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,253,074	3.0%	10	1,393	11	262	10	42,951	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	122,537	0.0%	19	11	20	6	19	20,423	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,074,680	0.6%	15	65	18	20	18	103,734	4
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,531,484	1.2%	14	1,762	9	331	7	13,690	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11,076,829	3.0%	11	646	14	177	13	62,581	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	548,500	0.1%	18	584	15	79	16	6,943	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	31,884	0.0%	20	14	19	3	20	10,628	19
合計	372,833,390			16,008		1,000		372,833	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【森山地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,097,482	4.7%	9	237	12	46	11	67,337	8
II. 新生物<腫瘍>	8,040,111	12.1%	2	237	12	71	6	113,241	5
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	591,848	0.9%	17	55	17	16	16	36,991	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,658,700	7.0%	6	907	3	87	4	53,548	10
V. 精神及び行動の障害	3,476,738	5.2%	8	366	9	28	13	124,169	4
VI. 神経系の疾患	3,508,812	5.3%	7	737	5	60	9	58,480	9
VII. 眼及び付属器の疾患	3,014,587	4.5%	10	453	7	71	6	42,459	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	523,799	0.8%	18	110	15	19	15	27,568	15
IX. 循環器系の疾患	7,048,573	10.6%	3	1,247	1	95	2	74,196	7
X. 呼吸器系の疾患	7,022,692	10.6%	4	582	6	93	3	75,513	6
X I. 消化器系の疾患 ※	5,542,378	8.3%	5	1,072	2	106	1	52,287	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	646,049	1.0%	16	264	11	44	12	14,683	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	14,445,462	21.7%	1	836	4	78	5	185,198	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,076,951	1.6%	12	280	10	50	10	21,539	16
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	855,051	1.3%	14	11	18	2	18	427,526	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	695,730	1.0%	15	3	19	2	18	347,865	2
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	0	0.0%		0		0		0	
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	909,031	1.4%	13	415	8	68	8	13,368	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,362,952	2.0%	11	130	14	27	14	50,480	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	25,824	0.0%	19	68	16	10	17	2,582	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	66,542,770			3,125		165		403,290	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【馬場目地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,726,308	4.2%	9	331	12	55	11	85,933	5
II. 新生物<腫瘍>	19,120,595	17.0%	2	244	13	61	9	313,452	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	149,868	0.1%	17	91	17	22	15	6,812	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,025,116	7.1%	6	1,354	2	114	2	70,396	8
V. 精神及び行動の障害	12,913,162	11.5%	4	472	8	39	14	331,107	1
VI. 神経系の疾患	13,175,668	11.7%	3	899	5	70	8	188,224	3
VII. 眼及び付属器の疾患	4,786,263	4.2%	8	568	7	77	6	62,159	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	200,709	0.2%	15	92	16	19	17	10,564	16
IX. 循環器系の疾患	20,596,903	18.3%	1	1,696	1	128	1	160,913	4
X. 呼吸器系の疾患	3,831,509	3.4%	11	625	6	97	5	39,500	12
X I. 消化器系の疾患 ※	5,846,001	5.2%	7	1,147	3	114	2	51,281	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,523,799	4.0%	10	335	11	53	12	85,355	6
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,654,365	7.7%	5	1,139	4	109	4	79,398	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	2,151,119	1.9%	13	398	10	56	10	38,413	13
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	151,539	0.1%	16	10	18	4	18	37,885	14
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,548,589	1.4%	14	452	9	74	7	20,927	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,165,660	1.9%	12	152	15	40	13	54,142	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	116,647	0.1%	18	181	14	22	15	5,302	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	112,683,820			3,849		212		531,527	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【富津内地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,524,779	1.7%	13	277	13	74	11	20,605	14
II. 新生物<腫瘍>	8,931,274	9.7%	3	328	12	79	8	113,054	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	237,636	0.3%	16	94	16	25	16	9,505	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	7,242,733	7.9%	7	1,297	2	123	5	58,884	8
V. 精神及び行動の障害	17,878,856	19.4%	1	428	8	41	14	436,070	1
VI. 神経系の疾患	5,806,570	6.3%	8	771	5	79	8	73,501	4
VII. 眼及び付属器の疾患	2,341,463	2.5%	12	570	7	111	6	21,094	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	403,506	0.4%	15	117	15	26	15	15,519	15
IX. 循環器系の疾患	8,925,911	9.7%	4	1,688	1	143	2	62,419	6
X. 呼吸器系の疾患	4,438,023	4.8%	9	583	6	137	3	32,394	11
X I. 消化器系の疾患 ※	7,387,017	8.0%	6	1,278	3	145	1	50,945	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,444,540	3.7%	11	411	9	75	10	45,927	10
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	7,978,281	8.7%	5	1,212	4	134	4	59,539	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	4,202,692	4.6%	10	358	11	64	12	65,667	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	12,544	0.0%	19	2	19	1	19	12,544	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	227,985	0.2%	17	17	18	8	18	28,498	12
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	776,496	0.8%	14	379	10	81	7	9,586	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	10,164,311	11.1%	2	199	14	50	13	203,286	2
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	48,963	0.1%	18	88	17	13	17	3,766	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	91,973,580			4,546		264		348,385	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【内川地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,851,997	5.8%	9	192	13	38	12	101,368	6
II. 新生物<腫瘍>	8,026,387	12.0%	2	309	10	58	8	138,386	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	442,192	0.7%	16	77	17	14	16	31,585	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,268,096	6.4%	8	778	4	69	5	61,856	10
V. 精神及び行動の障害	3,669,669	5.5%	10	345	8	27	14	135,914	4
VI. 神経系の疾患	2,786,599	4.2%	11	538	5	44	9	63,332	9
VII. 眼及び付属器の疾患	2,630,229	3.9%	12	318	9	59	7	44,580	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	205,689	0.3%	17	98	16	14	16	14,692	17
IX. 循環器系の疾患	10,212,006	15.3%	1	1,187	1	90	2	113,467	5
X. 呼吸器系の疾患	6,260,826	9.4%	4	386	6	71	4	88,181	7
X I. 消化器系の疾患 ※	4,735,807	7.1%	7	1,072	2	94	1	50,381	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	589,453	0.9%	15	212	12	39	11	15,114	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,255,569	7.9%	6	808	3	80	3	65,695	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,575,742	9.8%	3	256	11	42	10	156,565	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	0	0.0%		0		0		0	
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	977,168	1.5%	13	381	7	61	6	16,019	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,432,098	8.1%	5	171	14	29	13	187,314	1
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	899,223	1.3%	14	124	15	16	15	56,201	11
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	66,818,750			2,687		144		464,019	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【大川地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,740,824	2.6%	11	280	13	90	11	41,565	10
II. 新生物<腫瘍>	30,703,422	21.3%	1	470	11	112	8	274,138	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,551,226	1.1%	14	140	17	39	15	39,775	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	15,217,145	10.6%	4	1,969	3	183	3	83,154	6
V. 精神及び行動の障害	15,445,012	10.7%	3	798	7	65	13	237,616	2
VI. 神経系の疾患	4,609,768	3.2%	9	1,062	5	90	11	51,220	9
VII. 眼及び付属器の疾患	3,813,994	2.7%	10	717	9	132	6	28,894	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	619,553	0.4%	16	216	15	32	16	19,361	16
IX. 循環器系の疾患	16,297,224	11.3%	2	2,277	1	186	2	87,619	5
X. 呼吸器系の疾患	4,871,249	3.4%	8	950	6	158	5	30,831	13
X I. 消化器系の疾患 ※	12,027,030	8.4%	7	1,975	2	204	1	58,956	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,535,794	1.1%	15	469	12	95	10	16,166	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	13,412,497	9.3%	6	1,483	4	165	4	81,288	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	14,750,318	10.3%	5	618	10	117	7	126,071	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	182,649	0.1%	18	4	20	1	20	182,649	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	37,447	0.0%	19	11	18	4	18	9,362	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,268,496	1.6%	13	744	8	110	9	20,623	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,277,477	1.6%	12	249	14	61	14	37,336	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	479,871	0.3%	17	144	16	26	17	18,457	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,474	0.0%	20	5	19	2	19	2,237	20
合計	143,845,470			6,130		334		430,675	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	399,193	1.2%	11	124	9	19	6	21,010	13
II. 新生物<腫瘍>	248,628	0.7%	13	34	16	15	10	16,575	15
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	49,366	0.1%	17	35	15	6	16	8,228	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,488,194	4.3%	6	209	4	24	5	62,008	6
V. 精神及び行動の障害	5,725,535	16.6%	2	198	5	14	13	408,967	2
VI. 神経系の疾患	10,266,643	29.8%	1	271	3	19	6	540,350	1
VII. 眼及び付属器の疾患	742,918	2.2%	8	92	10	19	6	39,101	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	387,753	1.1%	12	53	13	11	15	35,250	12
IX. 循環器系の疾患	5,633,217	16.3%	3	306	2	27	3	208,638	3
X. 呼吸器系の疾患	2,286,076	6.6%	5	167	7	33	1	69,275	5
X I. 消化器系の疾患 ※	1,378,969	4.0%	7	325	1	29	2	47,551	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	187,290	0.5%	14	63	12	15	10	12,486	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,175,433	12.1%	4	168	6	25	4	167,017	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	619,481	1.8%	9	136	8	16	9	38,718	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	113,496	0.3%	15	6	19	2	18	56,748	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	18,354	0.1%	18	1	20	1	19	18,354	14
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	0	0.0%		0		0		0	
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	612,981	1.8%	10	92	10	14	13	43,784	9
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	109,906	0.3%	16	45	14	15	10	7,327	18
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	15,207	0.0%	19	25	17	3	17	5,069	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,860	0.0%	20	22	18	1	19	4,860	20
合計	34,463,500			960		64		538,492	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【五城目地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	24,203,892	6.5%	54
2	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	24,153,511	6.5%	35
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	23,141,121	6.2%	145
4	0901 高血圧性疾患	18,154,979	4.9%	418
5	0402 糖尿病	15,085,842	4.0%	287
6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	14,605,612	3.9%	7
7	0903 その他の心疾患	12,423,189	3.3%	241
8	0606 その他の神経系の疾患	11,393,459	3.1%	224
9	0602 アルツハイマー病	10,337,127	2.8%	11
10	1113 その他の消化器系の疾患	10,204,919	2.7%	277

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【森山地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1302 関節症	7,511,329	11.3%	29
2	1011 その他の呼吸器系の疾患	4,027,191	6.1%	36
3	0901 高血圧性疾患	3,995,363	6.0%	77
4	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	2,868,817	4.3%	27
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	2,661,847	4.0%	30
6	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	2,343,319	3.5%	11
7	1113 その他の消化器系の疾患	1,956,574	2.9%	61
8	0606 その他の神経系の疾患	1,944,534	2.9%	54
9	0102 結核	1,722,922	2.6%	3
10	0403 脂質異常症	1,719,442	2.6%	46

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【馬場目地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	11,835,146	10.5%	20
2	0904 くも膜下出血	9,856,246	8.7%	1
3	0606 その他の神経系の疾患	8,759,659	7.8%	61
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	7,980,522	7.1%	8
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	5,951,035	5.3%	27
6	0901 高血圧性疾患	4,563,828	4.1%	111
7	0402 糖尿病	4,537,754	4.0%	58
8	0105 ウイルス性肝炎	4,162,428	3.7%	12
9	0602 アルツハイマー病	3,136,563	2.8%	2
10	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,920,295	2.6%	26

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【富津内地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	10,679,021	11.6%	14
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	6,057,317	6.6%	22
3	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	5,782,471	6.3%	3
4	0901 高血圧性疾患	4,921,701	5.4%	116
5	0606 その他の神経系の疾患	3,993,747	4.3%	67
6	0402 糖尿病	3,637,092	4.0%	69
7	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	3,186,714	3.5%	14
8	0507 その他の精神及び行動の障害	2,963,058	3.2%	5
9	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,783,581	3.0%	42
10	1901 骨折	2,700,969	2.9%	22

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【内川地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1004 肺炎	4,992,543	7.5%	13
2	1402 腎不全	4,458,511	6.7%	7
3	0901 高血圧性疾患	3,857,608	5.8%	71
4	0209 白血病	2,629,046	3.9%	1
5	0903 その他の心疾患	2,372,064	3.5%	37
6	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	2,353,854	3.5%	15
7	0107 真菌症	2,342,068	3.5%	10
8	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	2,023,793	3.0%	2
9	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	1,984,989	3.0%	22
10	1113 その他の消化器系の疾患	1,949,446	2.9%	62

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【大川地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	24,896,432	17.3%	56
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	12,341,755	8.6%	15
3	1402 腎不全	10,550,420	7.3%	35
4	0402 糖尿病	9,402,763	6.5%	113
5	0901 高血圧性疾患	7,128,764	5.0%	148
6	1113 その他の消化器系の疾患	5,373,451	3.7%	128
7	0403 脂質異常症	4,029,323	2.8%	93
8	0903 その他の心疾患	3,839,215	2.7%	80
9	1302 関節症	3,827,613	2.7%	49
10	1309 骨の密度及び構造の障害	3,155,564	2.2%	49

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0602 アルツハイマー病	8,954,630	26.0%	3
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	5,184,861	15.0%	8
3	0905 脳内出血	2,809,677	8.2%	2
4	1301 炎症性多発性関節障害	2,538,503	7.4%	5
5	0902 虚血性心疾患	1,408,059	4.1%	7
6	1302 関節症	1,073,797	3.1%	2
7	0402 糖尿病	1,063,646	3.1%	9
8	1007 慢性副鼻腔炎	957,454	2.8%	4
9	1113 その他の消化器系の疾患	945,457	2.7%	18
10	0901 高血圧性疾患	875,053	2.5%	20

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【五城目地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	18,154,979	418	41.8%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,531,484	331	33.1%
3	0703 屈折及び調節の障害	1,629,959	327	32.7%
4	0402 糖尿病	15,085,842	287	28.7%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	4,102,595	286	28.6%
6	1113 その他の消化器系の疾患	10,204,919	277	27.7%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	8,109,584	251	25.1%
8	0403 脂質異常症	9,172,952	246	24.6%
9	0903 その他の心疾患	12,423,189	241	24.1%
10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,798,562	237	23.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【森山地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	3,995,363	77	46.7%
2	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,508,015	68	41.2%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	909,031	68	41.2%
4	0703 屈折及び調節の障害	272,676	63	38.2%
5	1113 その他の消化器系の疾患	1,956,574	61	37.0%
6	0606 その他の神経系の疾患	1,944,534	54	32.7%
6	0402 糖尿病	1,712,231	54	32.7%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,669,372	51	30.9%
9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	366,077	47	28.5%
10	0403 脂質異常症	1,719,442	46	27.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【馬場目地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	4,563,828	111	52.4%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,548,589	74	34.9%
3	0703 屈折及び調節の障害	383,301	71	33.5%
4	1113 その他の消化器系の疾患	2,773,000	65	30.7%
5	0606 その他の神経系の疾患	8,759,659	61	28.8%
5	0403 脂質異常症	2,127,573	61	28.8%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	850,299	60	28.3%
8	0402 糖尿病	4,537,754	58	27.4%
9	0903 その他の心疾患	1,939,658	57	26.9%
10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	345,636	52	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【富津内地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	4,921,701	116	43.9%
2	0703 屈折及び調節の障害	448,732	97	36.7%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,431,945	90	34.1%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	776,496	81	30.7%
5	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	482,181	77	29.2%
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	951,679	73	27.7%
7	0402 糖尿病	3,637,092	69	26.1%
8	0606 その他の神経系の疾患	3,993,747	67	25.4%
8	1113 その他の消化器系の疾患	2,223,268	67	25.4%
10	0903 その他の心疾患	2,405,588	64	24.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【内川地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	3,857,608	71	49.3%
2	1113 その他の消化器系の疾患	1,949,446	62	43.1%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	977,168	61	42.4%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,062,086	55	38.2%
5	0703 屈折及び調節の障害	268,831	52	36.1%
6	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	263,759	46	31.9%
7	0606 その他の神経系の疾患	1,262,453	42	29.2%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,011,372	42	29.2%
9	0402 糖尿病	1,852,524	40	27.8%
9	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	441,433	40	27.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【大川地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	7,128,764	148	44.3%
2	1113 その他の消化器系の疾患	5,373,451	128	38.3%
3	0703 屈折及び調節の障害	648,846	117	35.0%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,567,731	115	34.4%
5	0402 糖尿病	9,402,763	113	33.8%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,268,496	110	32.9%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,854,333	98	29.3%
8	0403 脂質異常症	4,029,323	93	27.8%
9	0903 その他の心疾患	3,839,215	80	24.0%
9	0606 その他の神経系の疾患	2,135,298	80	24.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

五城目地区	森山地区	馬場目地区	富津内地区	内川地区	大川地区	その他
-------	------	-------	-------	------	------	-----

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	875,053	20	31.3%
2	1113 その他の消化器系の疾患	945,457	18	28.1%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	201,592	17	26.6%
3	0703 屈折及び調節の障害	69,538	17	26.6%
5	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	96,129	16	25.0%
6	1011 その他の呼吸器系の疾患	672,202	14	21.9%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	612,981	14	21.9%
8	0606 その他の神経系の疾患	780,648	13	20.3%
8	1006 アレルギー性鼻炎	282,157	13	20.3%
8	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	113,964	13	20.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

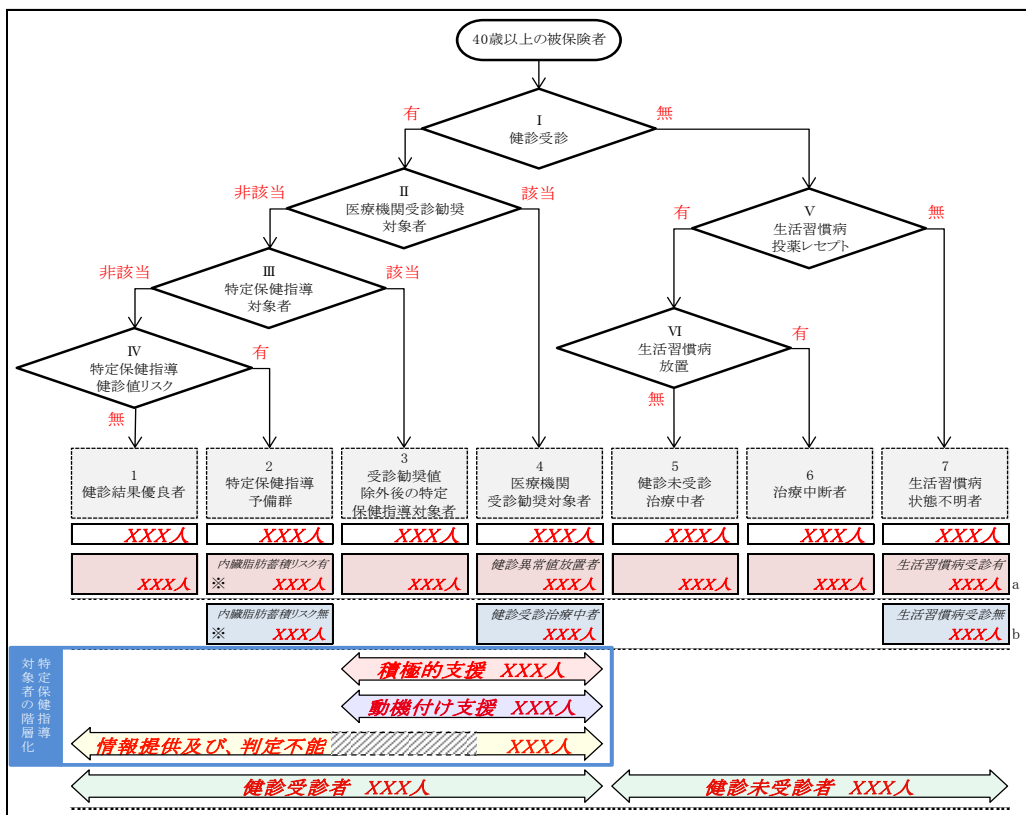
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 ……健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 ……健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 ……厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク ……厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト ……生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 ……生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 ……保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 ……保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 ……「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 ……「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 ……受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 健診異常値放置者 ……受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診受診治療中者 ……「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 ……「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 ……生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 ……過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 ……生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 ……「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 ……「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		